

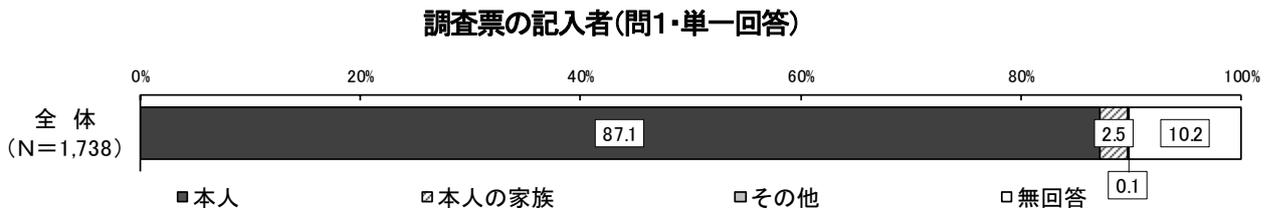
第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

(1) 基本属性

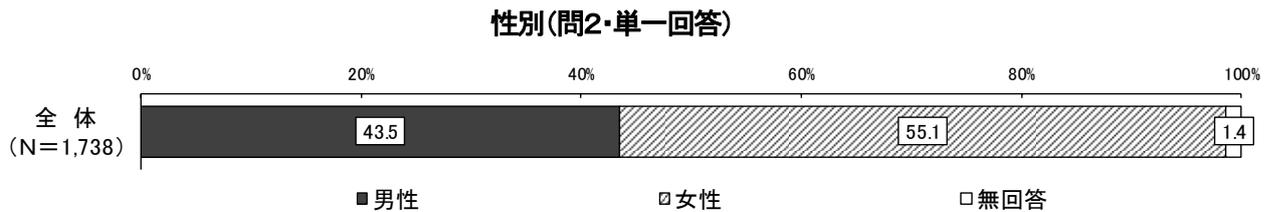
①調査票の記入者 (問1・単一回答)

調査票の記入者は、「本人」が87.1%、「本人の家族」が2.5%となっている。



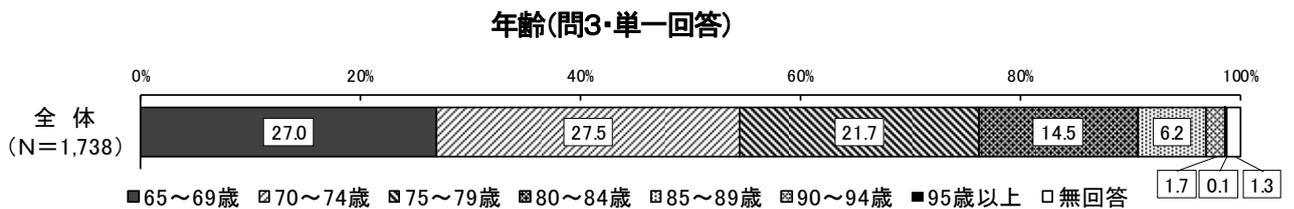
②性別 (問2・単一回答)

性別は、「男性」が43.5%、「女性」が55.1%となっている。



③年齢 (問3・単一回答)

年齢は、「70～74歳」が27.5%で最も多く、次いで「65～69歳」(27.0%)、「75～79歳」(21.7%)となっている。



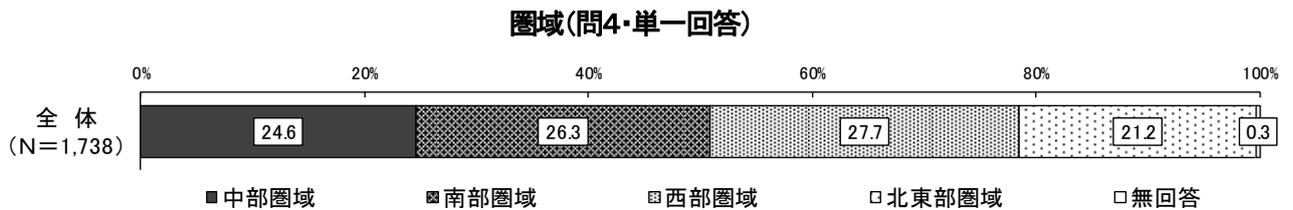
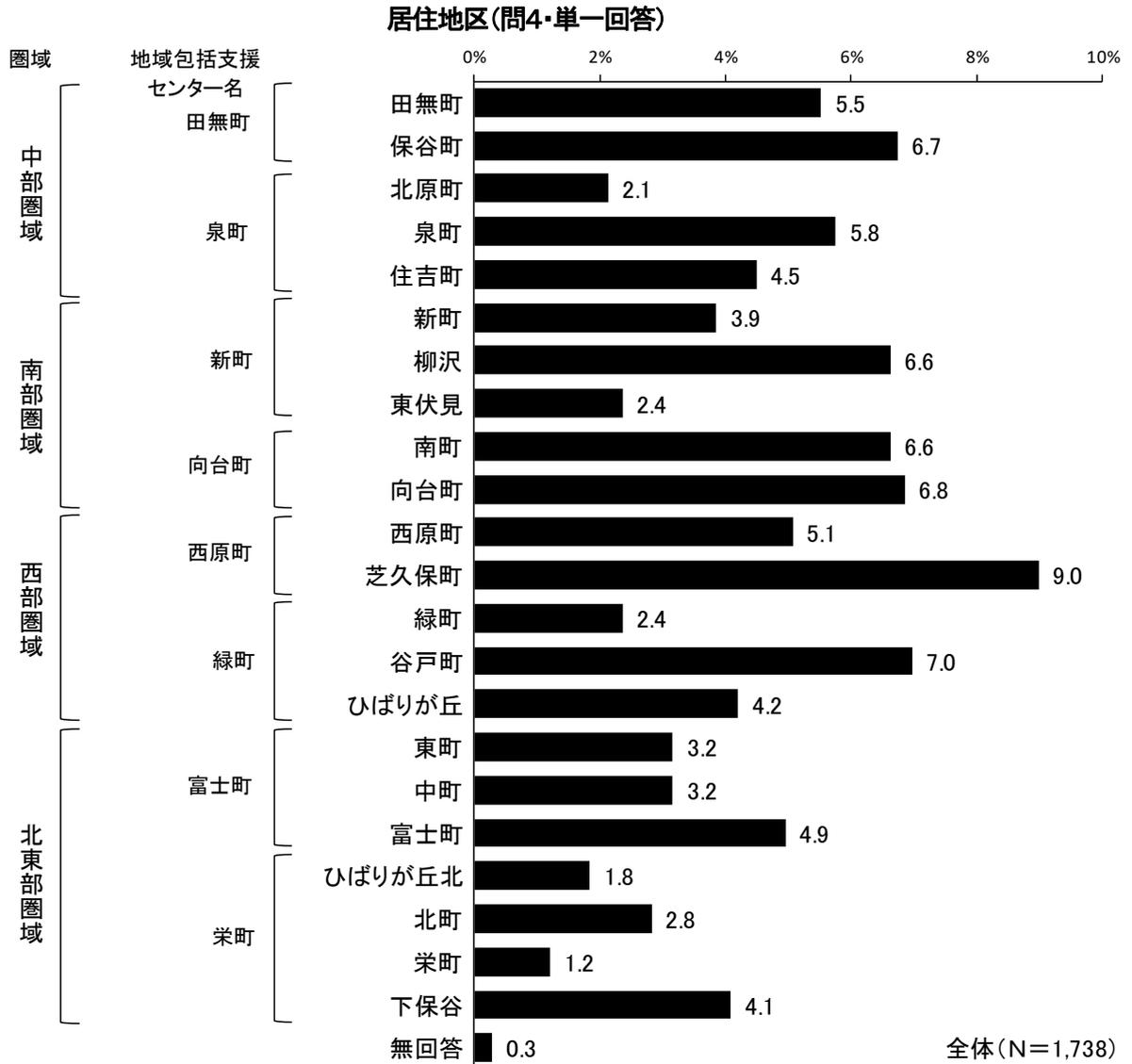
第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

④居住地区（問4・単一回答）

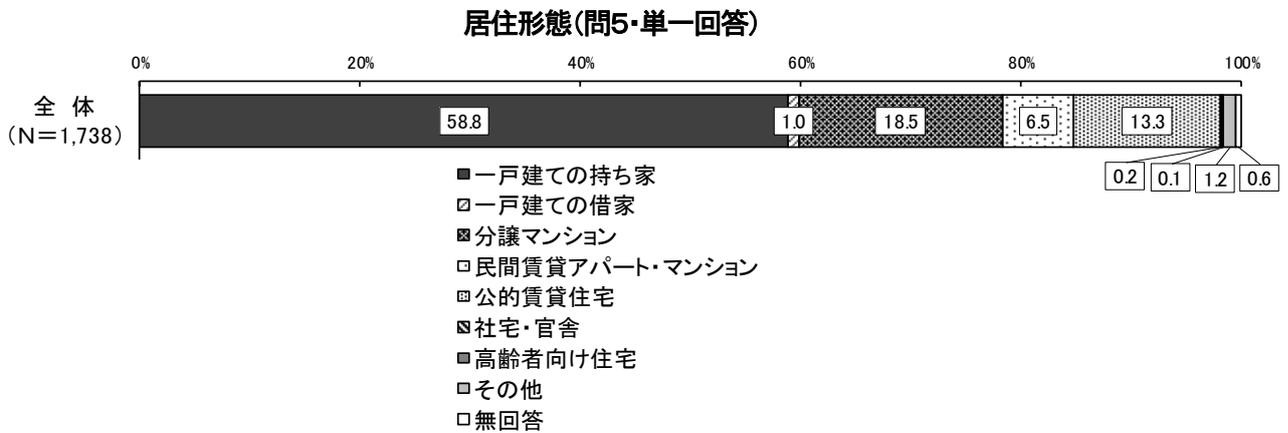
居住地区は、「芝久保町」（9.0%）が最も多く、「谷戸町」（7.0%）、「向台町」（6.8%）、「保谷町」（6.7%）、「南町」及び「柳沢」（ともに6.6%）と続いている。

圏域でみると、「西部圏域」（27.7%）が最も多く、「南部圏域」（26.3%）、「中部圏域」（24.6%）、「北東部圏域」（21.2%）と続いている。



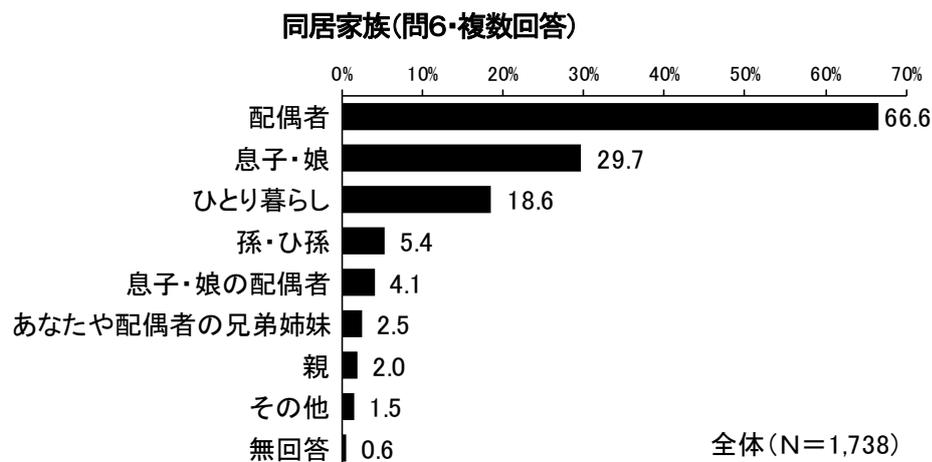
⑤居住形態（問5・単一回答）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」（58.8%）が最も多く、「分譲マンション」（18.5%）、「公的賃貸住宅」（13.3%）と続いている。



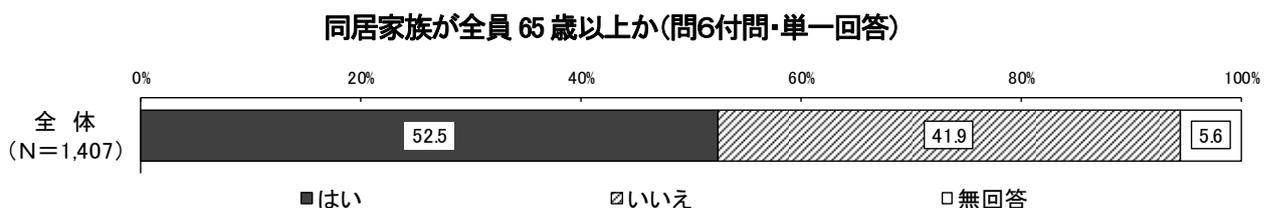
⑥同居家族（問6・複数回答）

同居家族は、「配偶者」（66.6%）が最も多く、「息子・娘」（29.7%）、「ひとり暮らし」（18.6%）と続いている。



⑦同居家族が全員 65 歳以上か（問6付問・単一回答）

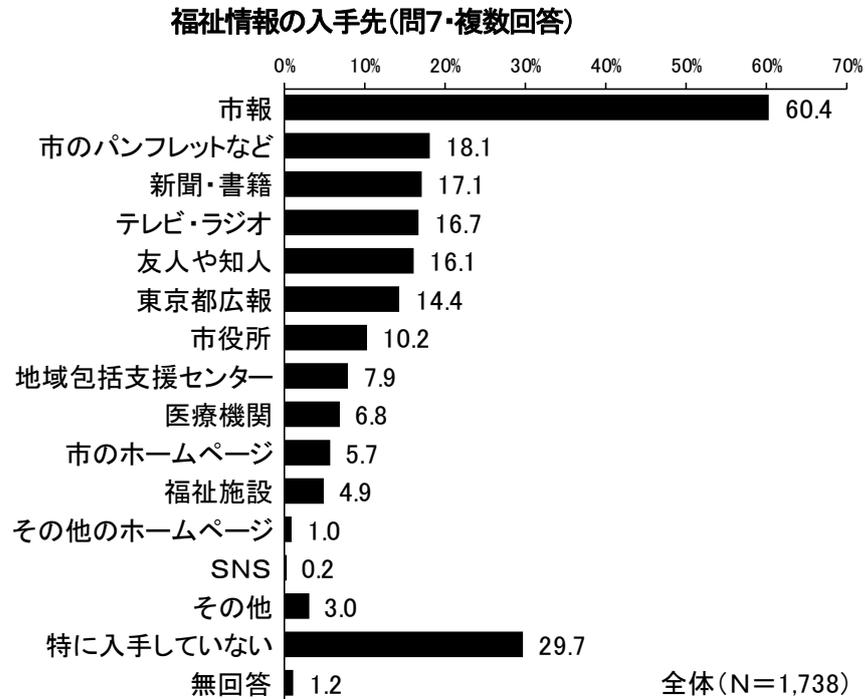
同居家族のいる人（問6で「ひとり暮らし」と回答しなかった人）の同居者が全員 65 歳以上であるかは、「はい」が52.5%、「いいえ」が41.9%となっている。



(2) 日頃の生活

①福祉情報の入手先 (問7・複数回答)

福祉情報の入手先は、「市報」が60.4%、「特に入手していない」が29.7%、「市のパンフレットなど」が18.1%となっている。



性・年齢別にみると、男女ともにどの年代も「市報」が最も多い。また、男性の85～94歳では「東京都広報」及び「新聞・書籍」が、女性の80～94歳では「テレビ・ラジオ」及び「友人や知人」がやや多くなっている。

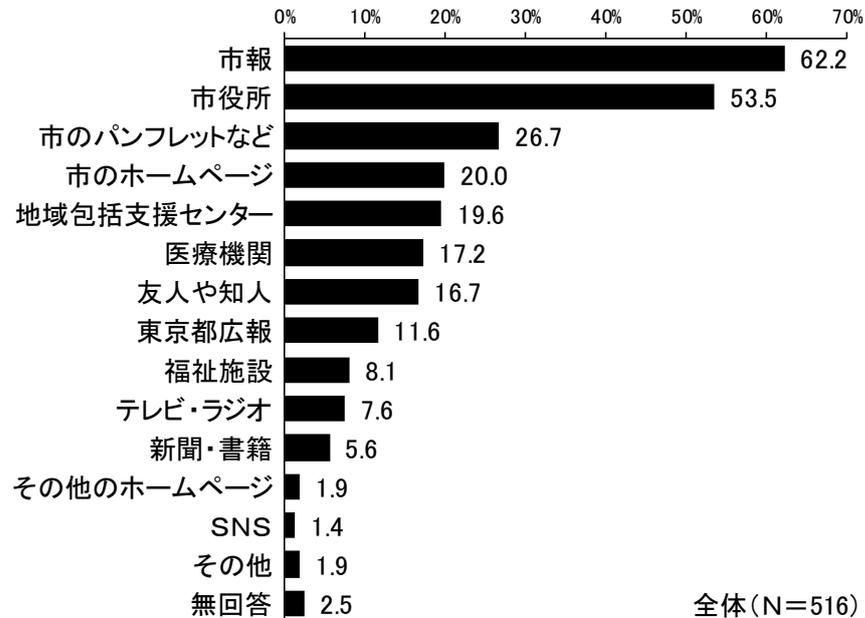
【性・年齢別】福祉情報の入手先(問7・複数回答)

		い 特 に 入 手 し て い な い	市 報	東 京 都 広 報	レ 市 の ト バ な ど フ	市 の ホ ー ム	ム そ の 他 の ホ ー	オ テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞 ・ 書 籍	S N S	市 役 所	医 療 機 関	福 祉 施 設	セ 地 域 包 括 支 援 中 心	友 人 や 知 人	そ の 他	無 回 答
全体 (N=1,738)		29.7	60.4	14.4	18.1	5.7	1.0	16.7	17.1	0.2	10.2	6.8	4.9	7.9	16.1	3.0	1.2
男性	65～69歳 (N=207)	40.1	45.4	12.1	14.5	8.7	0.5	11.1	10.6	0.0	8.2	2.4	2.4	3.9	2.9	2.9	0.5
	70～74歳 (N=203)	35.5	54.7	15.8	19.2	9.4	1.5	9.4	10.3	0.0	8.4	4.4	2.0	2.5	8.9	3.0	0.0
	75～79歳 (N=162)	27.8	63.0	18.5	20.4	6.2	1.2	14.2	17.3	0.6	16.0	8.6	3.7	6.8	13.6	3.7	0.6
	80～84歳 (N=109)	35.8	55.0	14.7	14.7	2.8	1.8	19.3	19.3	0.0	8.3	10.1	6.4	8.3	8.3	3.7	3.7
	85～89歳 (N=51)	19.6	64.7	21.6	17.6	3.9	3.9	25.5	31.4	0.0	15.7	9.8	9.8	11.8	19.6	2.0	2.0
	90～94歳 (N=14)	7.1	92.9	42.9	28.6	7.1	0.0	21.4	35.7	0.0	14.3	21.4	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0
女性	65～69歳 (N=257)	30.0	61.5	12.1	17.1	7.4	1.6	19.1	18.7	0.0	9.3	5.1	2.3	8.6	17.1	5.8	0.0
	70～74歳 (N=270)	27.0	67.4	14.8	20.7	4.8	0.4	17.0	17.4	0.4	8.9	4.8	7.4	5.9	23.0	1.9	0.4
	75～79歳 (N=212)	24.1	68.4	11.8	17.0	4.2	0.5	20.3	17.0	0.5	10.4	8.0	3.8	11.3	20.8	0.9	1.4
	80～84歳 (N=141)	28.4	61.7	16.3	20.6	0.7	0.7	20.6	24.8	0.7	12.1	12.1	8.5	12.8	28.4	1.4	2.1
	85～89歳 (N=57)	19.3	66.7	8.8	21.1	1.8	0.0	24.6	21.1	0.0	10.5	15.8	14.0	17.5	22.8	5.3	1.8
	90～94歳 (N=16)	25.0	56.3	18.8	25.0	0.0	0.0	31.3	25.0	0.0	18.8	12.5	6.3	25.0	31.3	0.0	0.0
	95歳以上 (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (N=38)		26.3	42.1	7.9	7.9	7.9	0.0	7.9	5.3	0.0	7.9	2.6	0.0	7.9	15.8	7.9	15.8

②情報を入手していない人が希望する福祉情報の入手先（問7付問・複数回答）

情報を入手していない人（問7で「特に入手していない」と回答した人）が希望する福祉情報の入手先は、「市報」（62.2%）が最も多く、「市役所」（53.5%）、「市のパンフレットなど」（26.7%）、「市のホームページ」（20.0%）と続いている。

情報を入手していない人が希望する福祉情報の入手先(問7付問・複数回答)



性・年齢別にみると、男女ともにどの年代も「市報」や「市役所」が多く、男性の65～69歳では「市のホームページ」（47.0%）が、女性の85～89歳では「地域包括支援センター」（45.5%）も多くなっている。

【性・年齢別】情報を入手していない人が希望する福祉情報の入手先(問7付問・複数回答)

(%)

	市報	東京都広報	市のパンフレットなど	市のホームページ	その他のホームページ	テレビ・ラジオ	新聞・書籍	SNS	市役所	医療機関	福祉施設	地域包括支援センター	友人や知人	その他	無回答
全体 (N=516)	62.2	11.6	26.7	20.0	1.9	7.6	5.6	1.4	53.5	17.2	8.1	19.6	16.7	1.9	2.5
男性	65～69歳 (N=83)	60.2	16.9	31.3	47.0	8.4	6.0	1.2	2.4	47.0	14.5	12.0	12.0	0.0	0.0
	70～74歳 (N=72)	68.1	15.3	27.8	25.0	1.4	5.6	4.2	1.4	56.9	15.3	6.9	12.5	8.3	1.4
	75～79歳 (N=45)	66.7	13.3	24.4	6.7	0.0	13.3	8.9	2.2	44.4	15.6	4.4	13.3	11.1	0.0
	80～84歳 (N=39)	51.3	2.6	23.1	10.3	0.0	0.0	2.6	2.6	56.4	17.9	5.1	20.5	12.8	7.7
	85～89歳 (N=10)	70.0	20.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	70.0	10.0	0.0	20.0	30.0	0.0
	90～94歳 (N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	65～69歳 (N=77)	63.6	11.7	28.6	27.3	1.3	11.7	11.7	0.0	51.9	23.4	14.3	20.8	23.4	2.6
	70～74歳 (N=73)	64.4	12.3	32.9	13.7	1.4	6.8	2.7	1.4	57.5	23.3	5.5	27.4	27.4	0.0
	75～79歳 (N=51)	54.9	5.9	17.6	3.9	0.0	5.9	3.9	0.0	56.9	15.7	9.8	15.7	19.6	2.0
	80～84歳 (N=40)	70.0	10.0	27.5	5.0	0.0	7.5	7.5	2.5	57.5	17.5	7.5	37.5	15.0	2.5
	85～89歳 (N=11)	54.5	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	36.4	9.1	0.0	45.5	9.1	9.1
	90～94歳 (N=4)	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	95歳以上 (N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (N=10)	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	70.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	

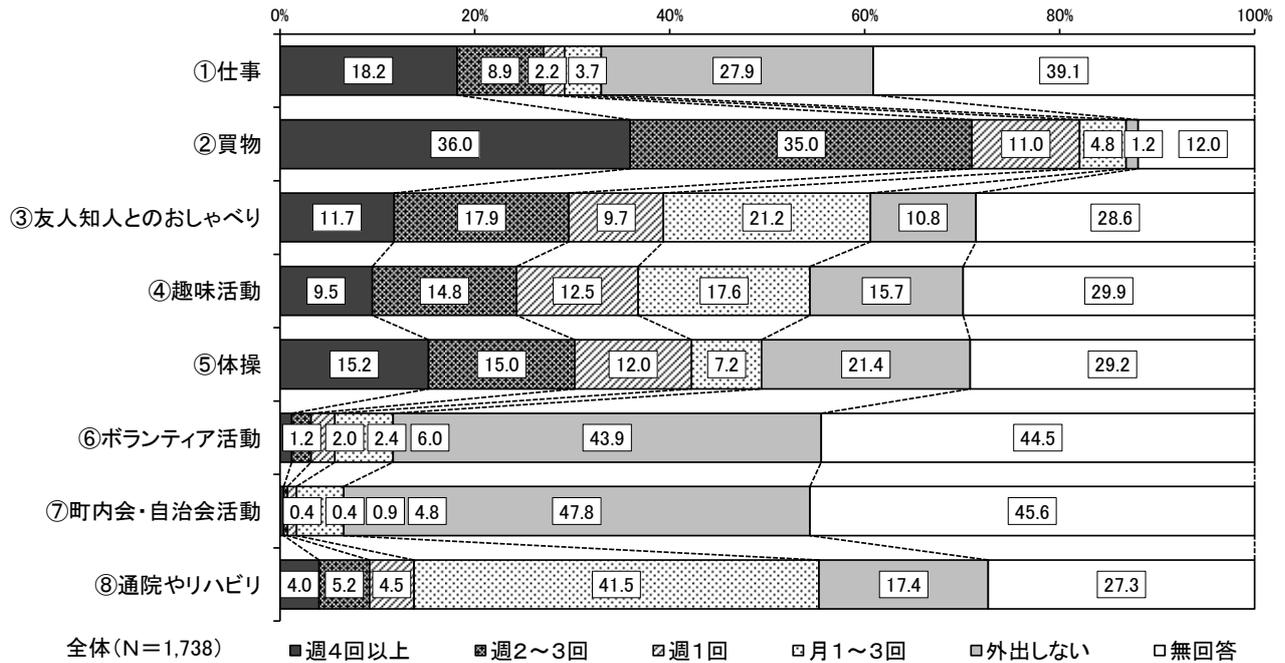
第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

③外出の頻度（問8・項目ごとに単一回答）

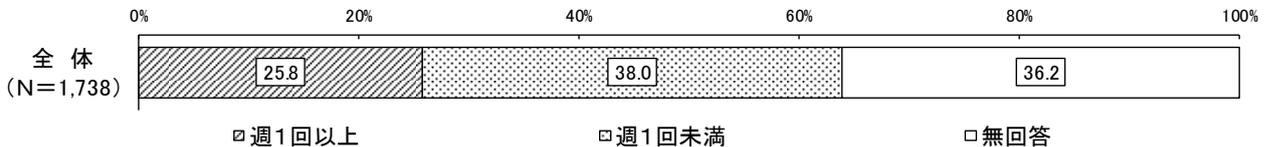
外出の頻度は、仕事は「外出しない」（27.9%）が、買物は「週4回以上」（36.0%）が、友人知人とのおしゃべりは「月1～3回」（21.2%）が、趣味活動は「月1～3回」（17.6%）が、体操は「外出しない」（21.4%）が、ボランティア活動は「外出しない」（43.9%）が、町内会・自治会活動は「外出しない」（47.8%）が、通院やリハビリは「月1～3回」（41.5%）がそれぞれ最も多くなっている。

外出の頻度(問8・項目ごとに単一回答)



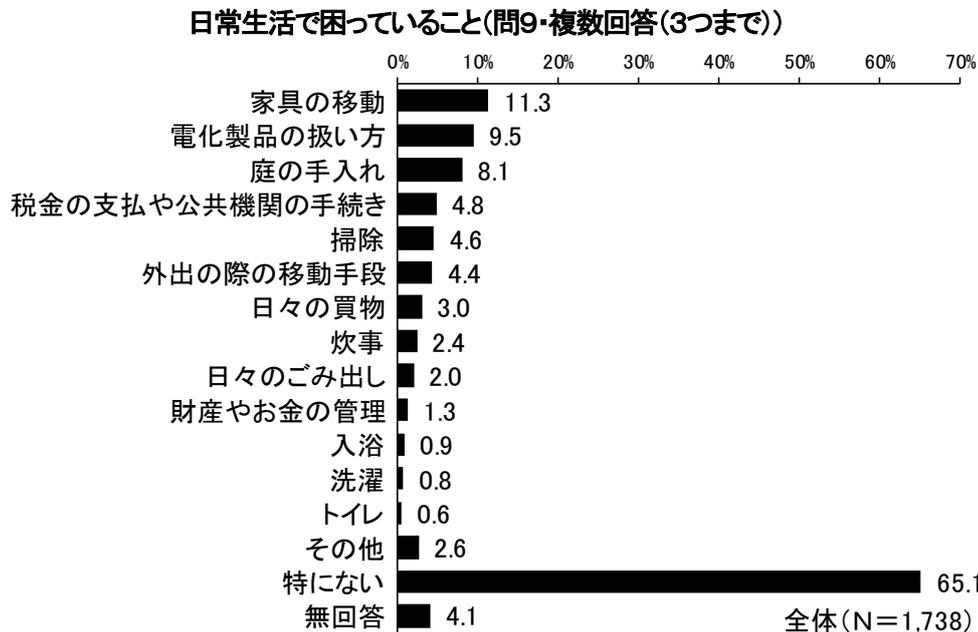
なお、買物及び通院やリハビリ以外での外出頻度（問8で「②買物」及び「⑧通院やリハビリ」を除いた項目において「週4回以上」「週2～3回」「週1回」と回答した人の合計）をみると、「週1回以上」が25.8%、「週1回未満」が38.0%となっている。

外出の頻度(②買物及び⑧通院やリハビリを除いた外出を週1回以上)(問8・項目ごとに単一回答)



④日常生活で困っていること（問9・複数回答（3つまで））

日常生活で困っていることは、「特にない」（65.1%）が最も多く、「家具の移動」（11.3%）、「電化製品の扱い方」（9.5%）、「庭の手入れ」（8.1%）と続いている。



性・年齢別の困っていることとしては、男性の70～84歳と女性の65～79歳では「家具の移動」が最も多いものの、女性の80～94歳では「電化製品の扱い方」、男性の65～69歳では「庭の手入れ」、男性の85～89歳では「税金の支払や公共機関の手続き」、男性の90～94歳では「外出の際の移動手段」が最も多くなっている。

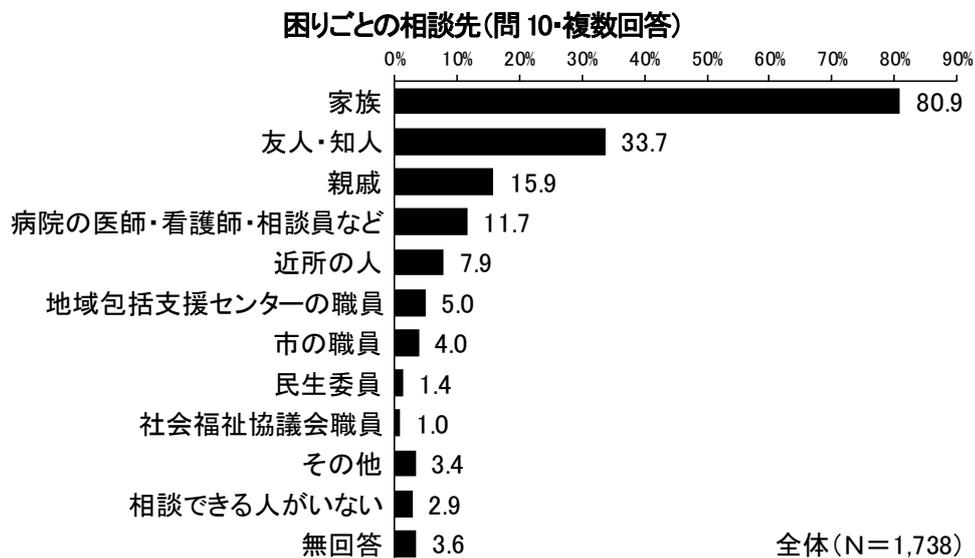
【性・年齢別】日常生活で困っていること(問9・複数回答(3つまで))

(%)

	日々の買物	日々のごみ出し	家具の移動	庭の手入れ	掃除	洗濯	炊事	トイレ	入浴	外出の際の移動手段	機関の支払や公共	財産やお金の管理	電化製品の扱い方	その他	特にない	無回答	
全体 (N=1,738)	3.0	2.0	11.3	8.1	4.6	0.8	2.4	0.6	0.9	4.4	4.8	1.3	9.5	2.6	65.1	4.1	
男性	65～69歳 (N=207)	1.9	3.4	5.8	7.7	5.3	2.9	5.8	0.0	1.9	1.4	6.3	1.4	4.3	1.0	71.0	2.9
	70～74歳 (N=203)	1.5	1.0	6.9	4.4	1.5	0.0	0.5	0.5	1.0	2.5	3.9	2.0	3.4	1.5	78.3	3.4
	75～79歳 (N=162)	3.1	1.2	11.1	8.0	4.9	1.2	3.7	0.6	0.6	3.7	4.3	0.6	8.6	3.1	67.3	3.1
	80～84歳 (N=109)	4.6	2.8	11.0	8.3	10.1	0.9	9.2	2.8	0.0	5.5	6.4	0.9	10.1	3.7	52.3	7.3
	85～89歳 (N=51)	9.8	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	3.9	2.0	3.9	13.7	15.7	2.0	11.8	3.9	49.0	3.9
	90～94歳 (N=14)	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
女性	65～69歳 (N=257)	1.9	1.2	14.0	7.4	1.6	0.0	0.4	0.4	0.0	2.3	2.7	1.9	8.6	3.1	71.6	1.9
	70～74歳 (N=270)	2.2	1.1	12.6	8.9	3.0	0.0	0.7	0.0	0.0	4.1	4.1	0.7	8.5	4.4	65.9	4.4
	75～79歳 (N=212)	2.4	2.4	16.5	9.9	4.7	0.5	0.9	0.5	0.9	5.7	2.8	0.5	13.7	3.3	59.4	5.2
	80～84歳 (N=141)	4.3	3.5	12.8	11.3	9.2	1.4	2.1	1.4	0.0	6.4	5.7	1.4	17.7	0.7	53.9	5.0
	85～89歳 (N=57)	5.3	3.5	14.0	3.5	8.8	0.0	3.5	0.0	3.5	5.3	1.8	1.8	21.1	1.8	56.1	7.0
	90～94歳 (N=16)	12.5	0.0	25.0	12.5	18.8	12.5	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	6.3	37.5	0.0	37.5	6.3
	95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答 (N=38)	7.9	0.0	7.9	7.9	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	7.9	10.5	2.6	2.6	2.6	65.8	10.5	

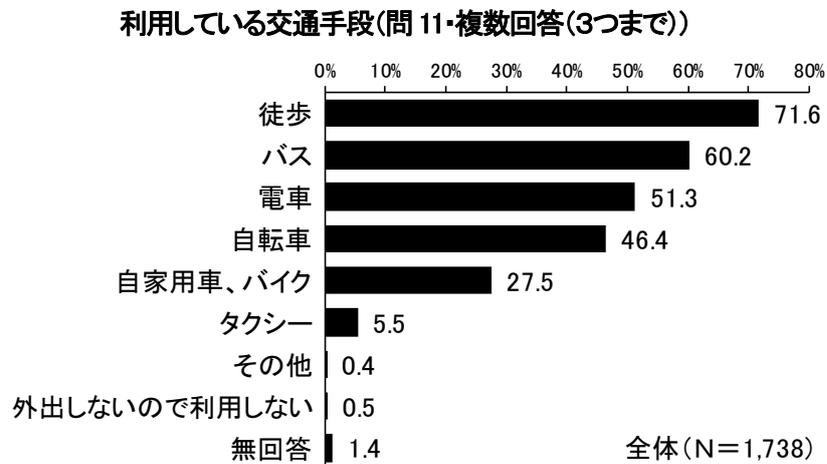
⑤困りごとの相談先（問10・複数回答）

困りごとの相談先は、「家族」（80.9%）が最も多く、「友人・知人」（33.7%）、「親戚」（15.9%）、「病院の医師・看護師・相談員など」（11.7%）と続いている。



⑥利用している交通手段（問11・複数回答（3つまで））

利用している交通手段は、「徒歩」（71.6%）が最も多く、「バス」（60.2%）、「電車」（51.3%）、「自転車」（46.4%）と続いている。



圏域別では、いずれの圏域も「徒歩」が最も多いものの、北東部圏域では次いで「電車」（56.9%）や「自転車」（50.7%）の利用も多くなっている。

【圏域別】利用している交通手段(問11・複数回答(3つまで))

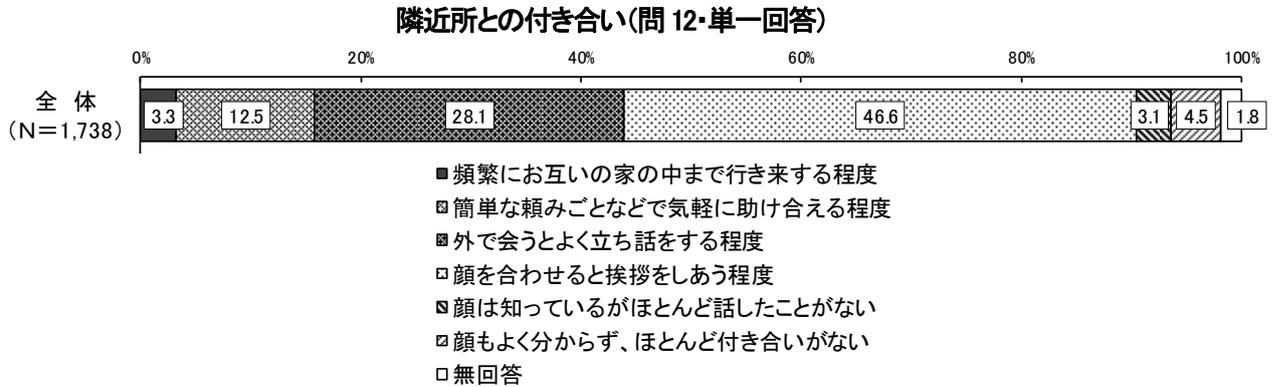
	徒歩	自転車	自家用車、バイク	バス	電車	タクシー	その他	で外出しないので利用しないの	無回答
全体 (N=1,738)	71.6	46.4	27.5	60.2	51.3	5.5	0.4	0.5	1.4
中部圏域 (N=428)	72.0	45.1	29.4	57.5	51.6	6.1	0.5	0.7	1.2
南部圏域 (N=457)	72.4	46.0	27.1	66.1	49.5	6.8	0.9	0.2	0.7
西部圏域 (N=479)	72.4	44.9	27.8	65.6	48.2	4.8	0.0	0.6	1.5
北東部圏域 (N=369)	69.9	50.7	25.7	48.8	56.9	4.1	0.3	0.3	2.2
無回答 (N=5)	20.0	40.0	0.0	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0

第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

⑦隣近所との付き合い（問12・単一回答）

隣近所との付き合いは、「顔を合わせると挨拶をしあう程度」（46.6%）が最も多く、「外で会うとよく立ち話をする程度」（28.1%）、「簡単な頼みごとなどで気軽に助け合える程度」（12.5%）、「顔もよく分からず、ほとんど付き合いがない」（4.5%）と続いている。



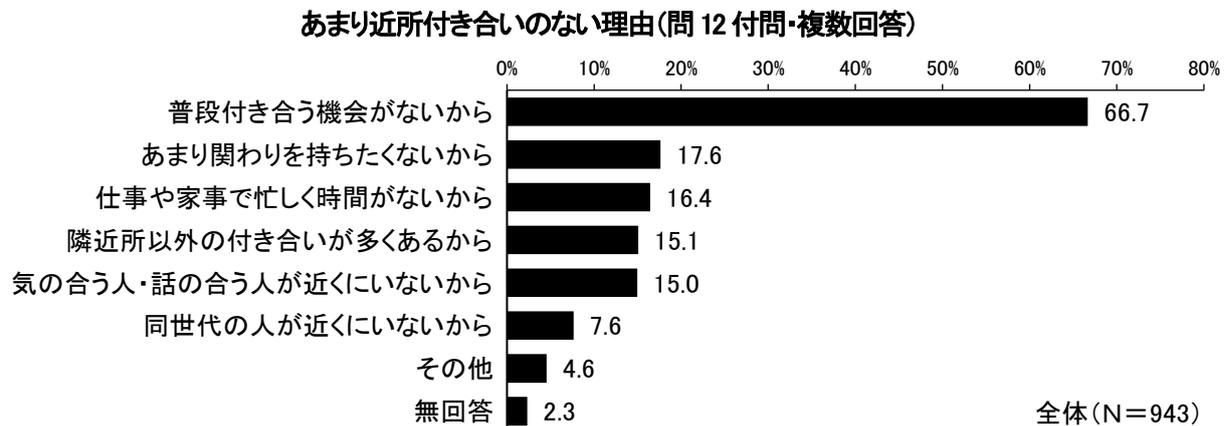
性・年齢別にみると、男性の全年代と女性の70歳代以下は「顔を合わせると挨拶をしあう程度」が最も多いものの、女性の80～84歳では「外で会うとよく立ち話をする程度」（34.8%）、女性の85～89歳では「簡単な頼みごとなどで気軽に助け合える程度」（36.8%）、女性の90～94歳では「外で会うとよく立ち話をする程度」及び「顔を合わせると挨拶をしあう程度」（ともに37.5%）が最も多くなっている。

【性・年齢別】隣近所との付き合い(問12・単一回答)

		頻繁に 行き来 する中 お互い の程 度	簡単な 頼みご とで 助け 合え る程 度	外で 会う とよ く立 ち話 する 程 度	顔を あわ せると 挨拶 をし あう 程 度	顔は 知っ てい るが ほと んど 話し たこ とが ない	顔も よく 分か らず 、ほ とん ど付 き合 い がな い	無 回 答
全体 (N=1,738)		3.3	12.5	28.1	46.6	3.1	4.5	1.8
男性	65～69歳 (N=207)	1.0	2.9	13.5	64.7	8.2	8.2	1.4
	70～74歳 (N=203)	1.0	6.4	19.7	61.6	4.4	5.9	1.0
	75～79歳 (N=162)	1.2	9.3	26.5	52.5	3.7	6.2	0.6
	80～84歳 (N=109)	0.9	7.3	28.4	50.5	2.8	7.3	2.8
	85～89歳 (N=51)	3.9	11.8	17.6	64.7	0.0	0.0	2.0
	90～94歳 (N=14)	0.0	14.3	21.4	50.0	0.0	7.1	7.1
女性	65～69歳 (N=257)	4.3	12.5	35.4	39.7	3.1	3.9	1.2
	70～74歳 (N=270)	4.1	14.8	32.6	41.9	1.9	3.7	1.1
	75～79歳 (N=212)	7.1	17.0	34.0	37.7	0.9	0.9	2.4
	80～84歳 (N=141)	3.5	23.4	34.8	29.8	1.4	3.5	3.5
	85～89歳 (N=57)	3.5	36.8	29.8	22.8	1.8	1.8	3.5
	90～94歳 (N=16)	12.5	12.5	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (N=38)		5.3	10.5	26.3	39.5	2.6	7.9	7.9

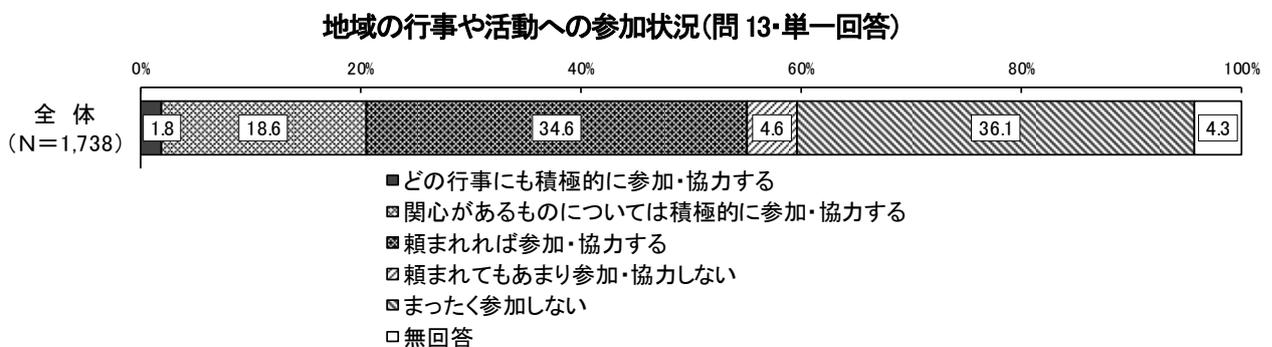
⑧あまり近所付き合いのない理由（問12付問・複数回答）

あまり近所付き合いがない人（問12で「顔を合わせると挨拶をしあう程度」「顔は知っているがほとんど話したことがない」「顔もよく分からず、ほとんど付き合いがない」と回答した人）の理由は、「普段付き合い合えないから」（66.7%）が最も多く、「あまり関わりを持ちたくないから」（17.6%）、「仕事や家事で忙しく時間がないから」（16.4%）、「隣近所以外の付き合いが多くあるから」（15.1%）と続いている。



⑨地域の行事や活動への参加状況（問13・単一回答）

地域の行事や活動への参加状況は、「まったく参加しない」（36.1%）が最も多く、「頼まれれば参加・協力する」（34.6%）、「関心があるものについては積極的に参加・協力する」（18.6%）、「頼まれてもあまり参加・協力しない」（4.6%）と続いている。



第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

性・年齢別にみると、男性の75～89歳と女性の70～84歳では「頼まれれば参加・協力する」が最も多く、女性の85～89歳では「関心があるものについては積極的に参加・協力する」、男性の65～74歳と90～94歳、女性の65～69歳と90歳以上では「まったく参加しない」が最も多くなっている。

【性・年齢別】地域の行事や活動への参加状況(問13・単一回答)

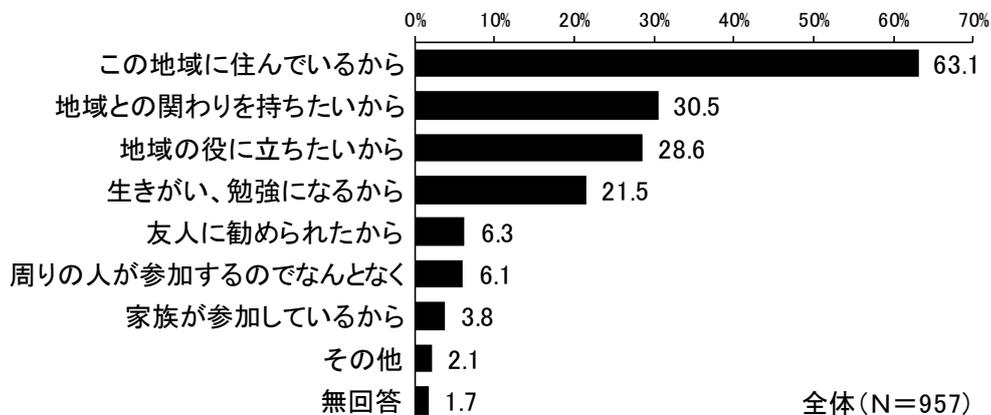
(%)

	す参もど る加積の ・極行 協的事 力にに	力にても関 す参はの心 る加積にが ・極つあ 協的いる	す参頼 る加ま ・れ 協れ 力ば	な加あ頼 い・ま ま 協りれ 力参て し も	加ま しつ なく いく 参	無 回 答	
全体 (N=1,738)	1.8	18.6	34.6	4.6	36.1	4.3	
男性	65～69歳 (N=207)	0.5	8.2	35.3	7.2	46.4	2.4
	70～74歳 (N=203)	1.5	14.3	35.0	6.4	39.9	3.0
	75～79歳 (N=162)	1.9	17.3	38.3	4.3	35.8	2.5
	80～84歳 (N=109)	1.8	9.2	36.7	6.4	35.8	10.1
	85～89歳 (N=51)	3.9	17.6	37.3	5.9	27.5	7.8
	90～94歳 (N=14)	7.1	21.4	21.4	7.1	35.7	7.1
女性	65～69歳 (N=257)	1.9	22.2	31.5	3.9	38.9	1.6
	70～74歳 (N=270)	3.7	20.4	40.4	1.9	31.5	2.2
	75～79歳 (N=212)	1.4	22.6	35.4	4.2	32.1	4.2
	80～84歳 (N=141)	0.7	28.4	33.3	2.1	29.1	6.4
	85～89歳 (N=57)	1.8	31.6	17.5	1.8	29.8	17.5
	90～94歳 (N=16)	0.0	18.8	6.3	18.8	56.3	0.0
	95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答 (N=38)	0.0	18.4	26.3	7.9	34.2	13.2	

⑩参加している理由 (問13付問1・複数回答)

地域の行事や活動に参加している人(問13で「どの行事にも積極的に参加・協力する」「関心があるものについては積極的に参加・協力する」「頼まれれば参加・協力する」と回答した人)の理由は、「この地域に住んでいるから」(63.1%)が最も多く、「地域との関わりを持ちたいから」(30.5%)、「地域の役に立ちたいから」(28.6%)と続いている。

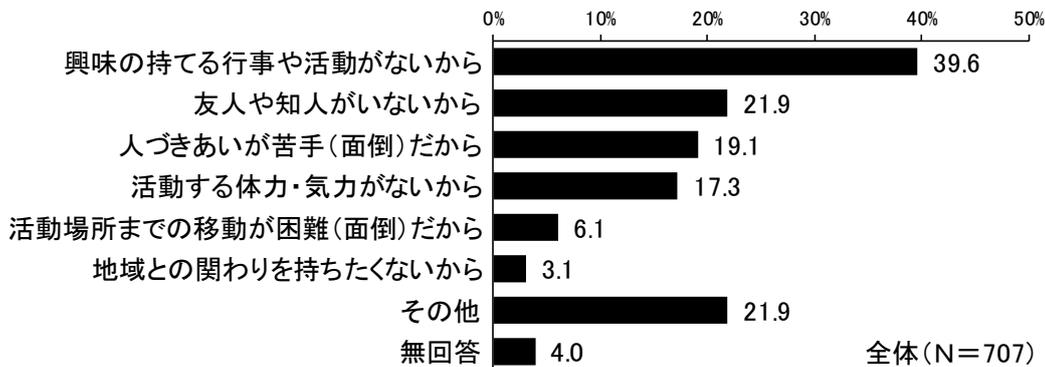
参加している理由(問13付問1・複数回答)



⑪参加しない理由（問13付問2・複数回答）

地域の行事や活動に参加しない人（問13で「頼まれてもあまり参加・協力しない」「まったく参加しない」と回答した人）の参加しない理由は、「興味の持てる行事や活動がないから」（39.6%）が最も多く、「友人や知人がいないから」（21.9%）、「人づきあいが苦手（面倒）だから」（19.1%）、「活動する体力・気力がないから」（17.3%）と続いている。

参加しない理由(問13付問2・複数回答)



[その他の記述] 仕事、孫の世話、趣味の活動などで忙しいから、など

性・年齢別では、男性の65～89歳と女性の65～79歳では「興味の持てる行事や活動がないから」が最も多い一方、男性の90～94歳と女性の80歳以上では「活動する体力・気力がないから」が最も多くなっている。

【性・年齢別】参加しない理由(問13付問2・複数回答)

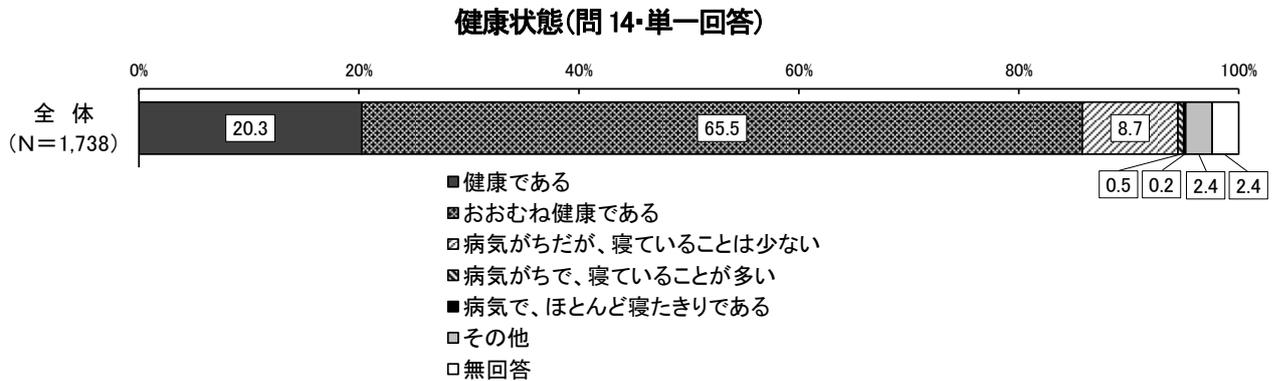
(%)

		なり地 いを域 か持と らちの た関 くわ	だ苦人 か手づ らへき 面あ 倒い へが	い友 な人 いや か知 ら人 が	い力活 か・動 ら気す 力る が体 な	ら(の活 面移動 倒動場 へが所 だ困ま か難で	な行興 い事味 かやの ら活持 動て がる	そ の 他	無 回 答
全体 (N=707)		3.1	19.1	21.9	17.3	6.1	39.6	21.9	4.0
男性	65～69歳 (N=111)	3.6	26.1	20.7	12.6	3.6	45.9	19.8	1.8
	70～74歳 (N=94)	2.1	26.6	35.1	10.6	0.0	41.5	21.3	1.1
	75～79歳 (N=65)	4.6	15.4	40.0	12.3	4.6	47.7	15.4	3.1
	80～84歳 (N=46)	4.3	21.7	32.6	19.6	4.3	41.3	15.2	4.3
	85～89歳 (N=17)	5.9	11.8	17.6	35.3	17.6	47.1	5.9	11.8
	90～94歳 (N=6)	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7
女性	65～69歳 (N=110)	1.8	11.8	11.8	10.9	2.7	35.5	37.3	2.7
	70～74歳 (N=90)	5.6	21.1	21.1	14.4	4.4	38.9	26.7	4.4
	75～79歳 (N=77)	1.3	20.8	11.7	16.9	9.1	39.0	15.6	9.1
	80～84歳 (N=44)	0.0	13.6	15.9	38.6	22.7	34.1	13.6	4.5
	85～89歳 (N=18)	0.0	11.1	27.8	38.9	16.7	16.7	16.7	5.6
	90～94歳 (N=12)	0.0	0.0	0.0	66.7	25.0	25.0	25.0	0.0
	95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 (N=16)	6.3	18.8	12.5	6.3	0.0	37.5	31.3	6.3

(3) 健康管理

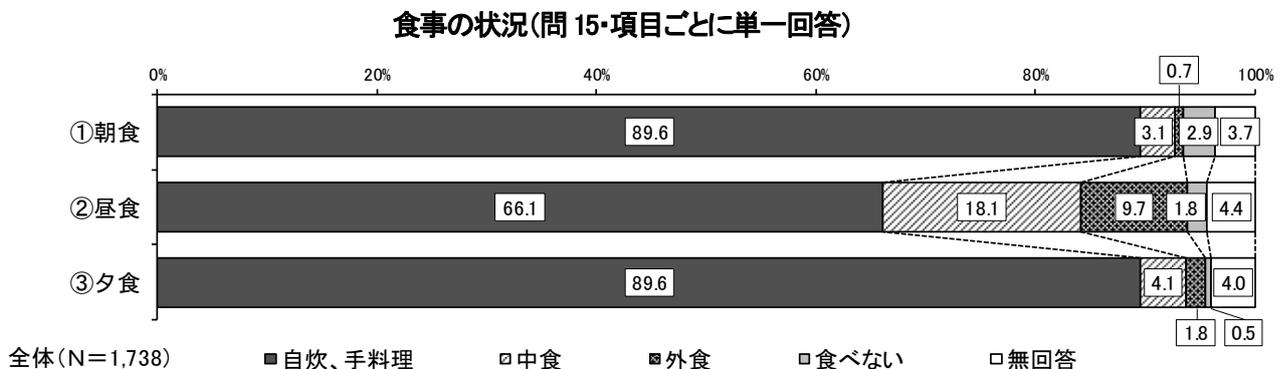
①健康状態 (問 14・単一回答)

健康状態は、「おおむね健康である」(65.5%)が最も多く、「健康である」(20.3%)、「病気がちだが、寝ていることは少ない」(8.7%)、「病気がちで、寝ていることが多い」(0.5%)と続いている。



②食事の状況 (問 15・項目ごとに単一回答)

食事の状況は、朝と夜は「自炊、手料理」が9割近くを占めており、昼は「自炊、手料理」が66.1%、「中食」が18.1%、「外食」が9.7%、となっている。



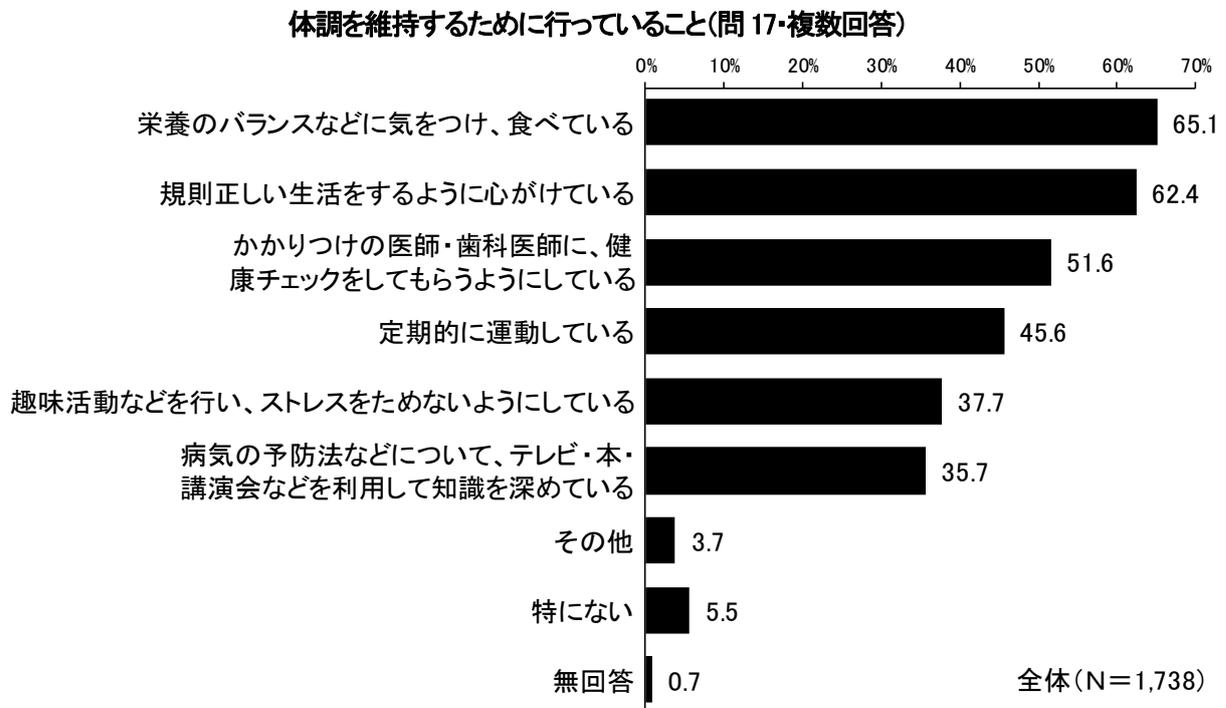
③誰かと食事をする機会 (問 16・単一回答)

誰かと食事をする機会は、「1日1回以上」(59.5%)が最も多く、「月1回以上」(13.9%)、「週1回以上」(11.5%)と続いており、「ほとんどない」は12.5%となっている。



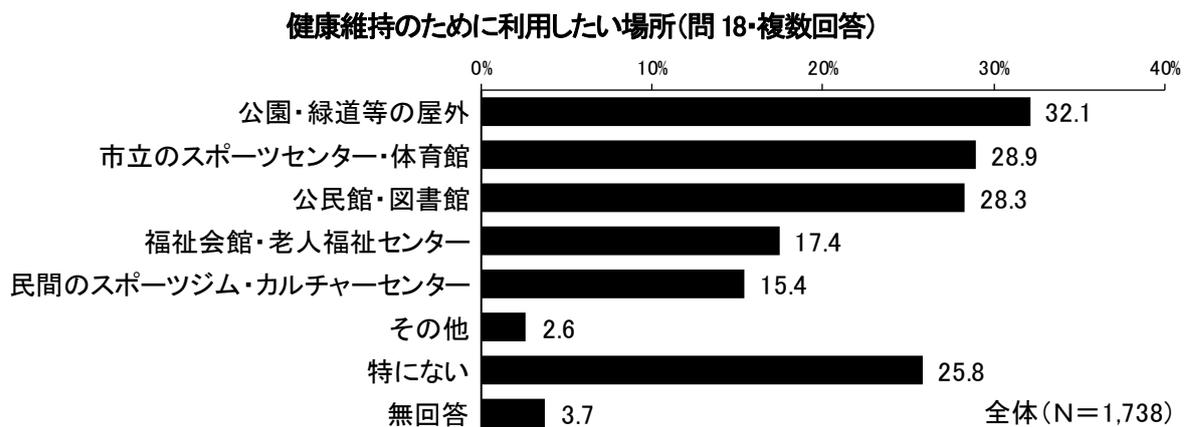
④体調を維持するために行っていること（問17・複数回答）

体調を維持するために行っていることは、「栄養のバランスなどに気をつけ、食べている」（65.1%）が最も多く、「規則正しい生活をするように心がけている」（62.4%）、「かかりつけの医師・歯科医師に、健康チェックをしてもらうようにしている」（51.6%）、「定期的に運動している」（45.6%）と続いている。



⑤健康維持のために利用したい場所（問18・複数回答）

健康維持のために利用したい場所は、「公園・緑道等の屋外」（32.1%）が最も多く、「市立のスポーツセンター・体育館」（28.9%）、「公民館・図書館」（28.3%）と続いている。

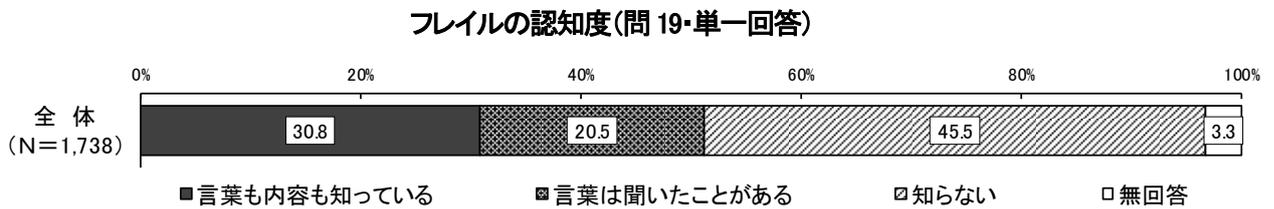


第2章 各調査の結果

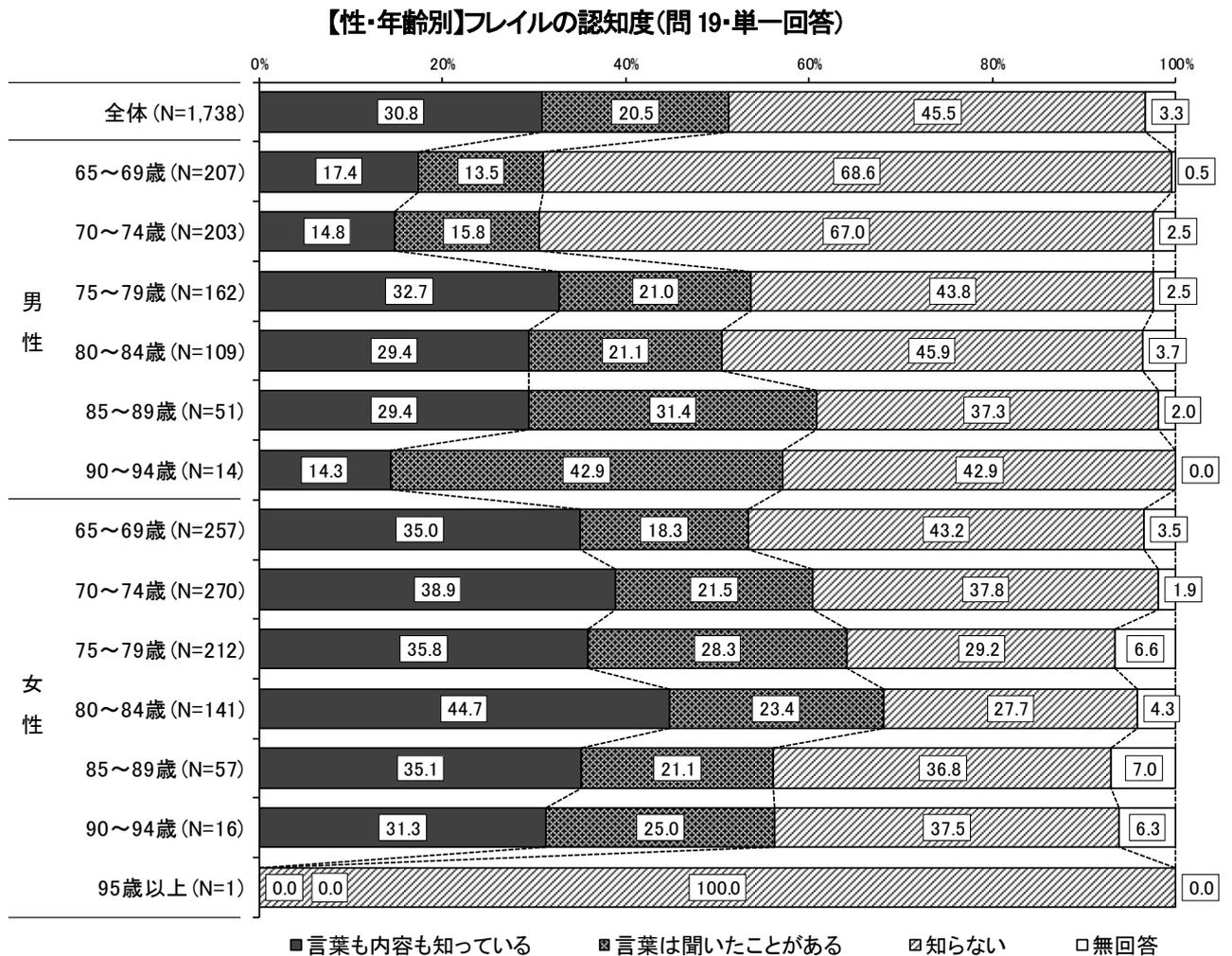
1 高齢者一般調査

⑥フレイルの認知度（問19・単一回答）

フレイルの認知度は、「言葉も内容も知っている」が30.8%、「言葉は聞いたことがある」が20.5%、「知らない」が45.5%となっている。

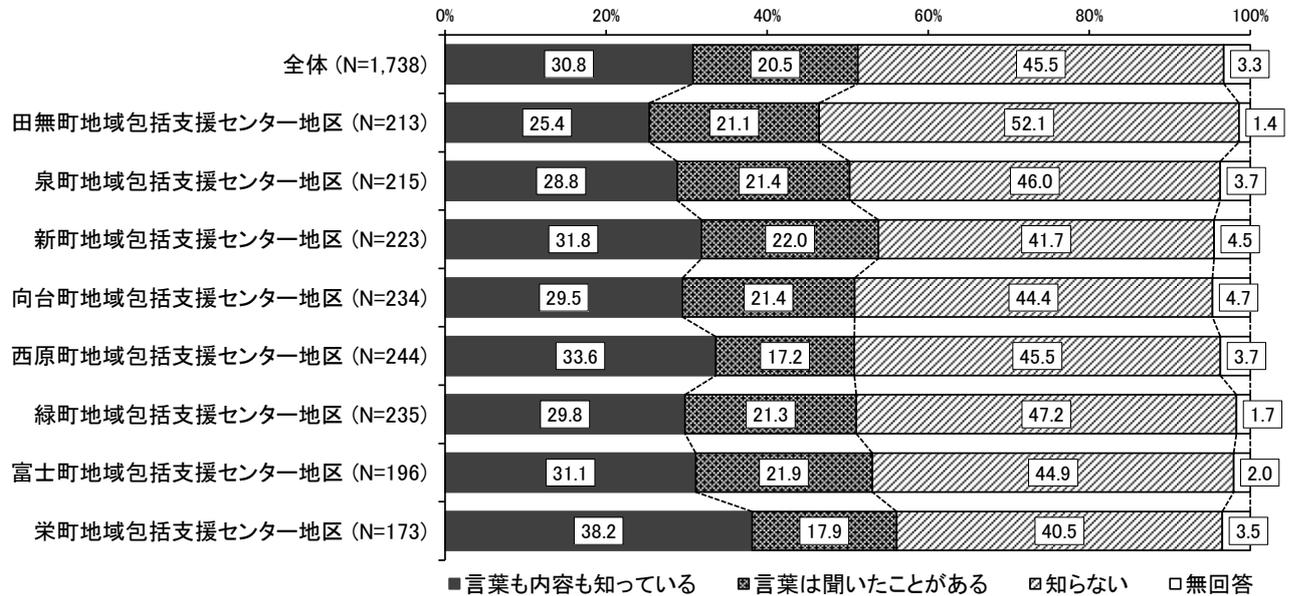


性・年齢別では、男性では全ての年代で「知らない」が最も多い一方、女性では70～74歳（38.9%）、75～79歳（35.8%）、80～84歳（44.7%）で「言葉も内容も知っている」が最も多くなっている。



地域包括支援センター地区別では、いずれのセンターも「知らない」が多いが、栄町では「知らない」(40.5%)に次いで「言葉も内容も知っている」が38.2%となっている。一方、田無町では「言葉も内容も知っている」(25.4%)に対し「知らない」が52.1%と倍以上となっている。

【地域包括支援センター地区別】フレイルの認知度(問19・単一回答)



(4) 医療の状況

①かかりつけ医の有無 (問20・単一回答)

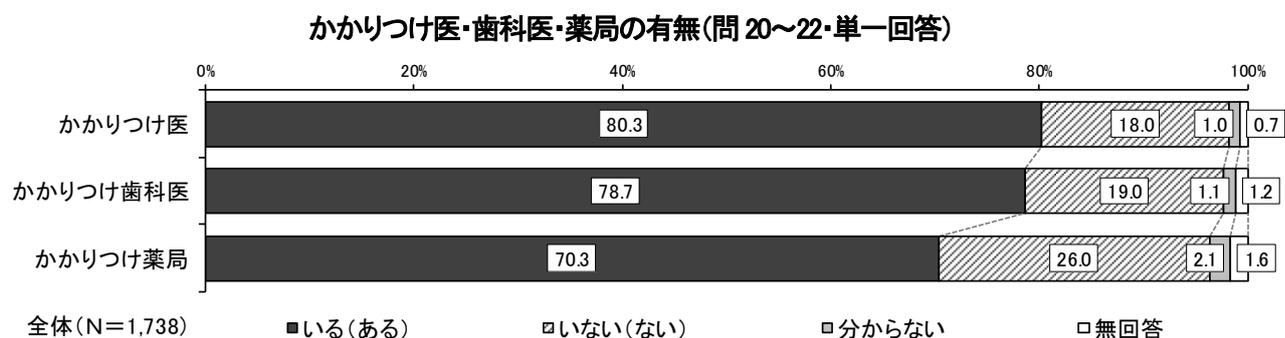
かかりつけ医の有無は、「いる」が80.3%、「いない」が18.0%となっている。

②かかりつけ歯科医の有無 (問21・単一回答)

かかりつけ歯科医の有無は、「いる」が78.7%、「いない」が19.0%となっている。

③かかりつけ薬局の有無 (問22・単一回答)

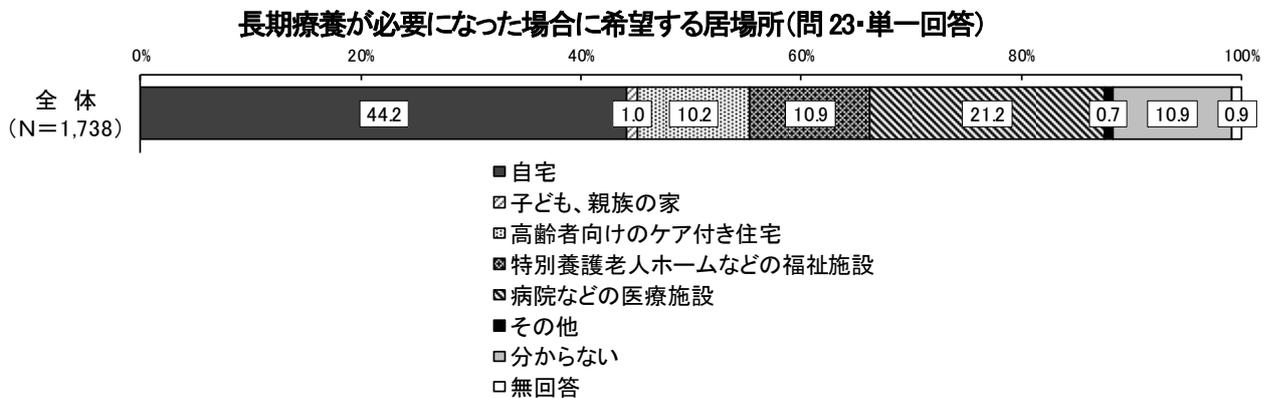
かかりつけ薬局の有無は、「ある」が70.3%、「ない」が26.0%となっている。



(5) 今後の希望

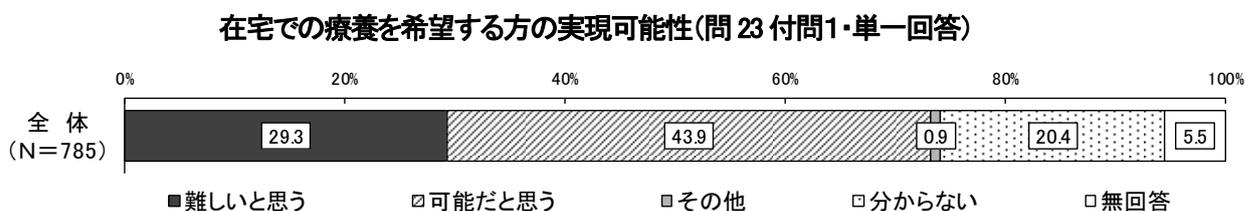
①長期療養が必要になった場合に希望する居場所（問23・単一回答）

長期療養が必要になった場合に希望する居場所は、「自宅」（44.2%）が最も多く、「病院などの医療施設」（21.2%）、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」（10.9%）と続いている。



②在宅での療養を希望する方の実現可能性（問23付問1・単一回答）

在宅での療養を希望する人（問23で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」が43.9%、「難しいと思う」が29.3%、「分からない」が20.4%となっている。



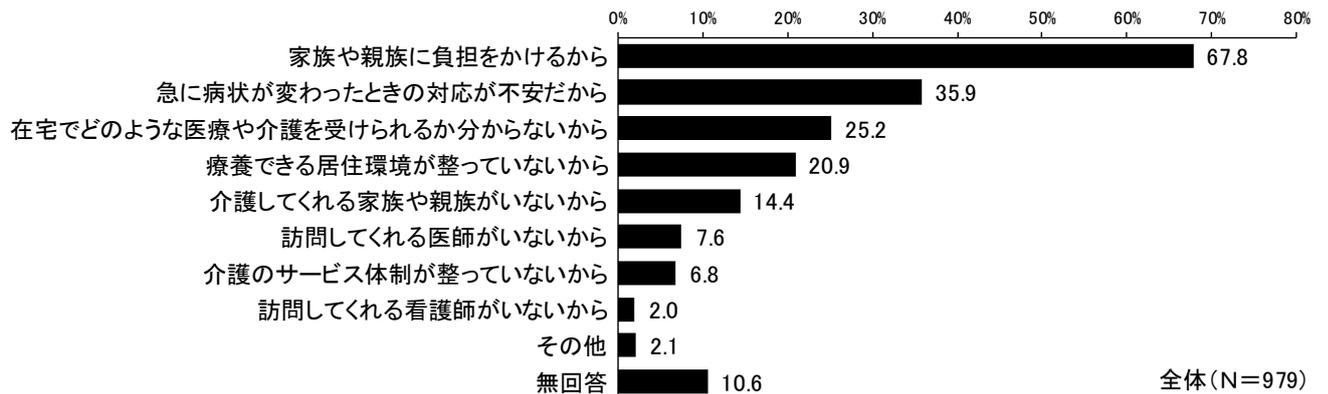
③在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問23付問2・複数回答（3つまで））

在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う人（問23で「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」と回答した人及び問23付問1で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（67.8%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（35.9%）、「在宅でどのような医療や介護を受けられるか分からないから」（25.2%）、「療養できる居住環境が整っていないから」（20.9%）と続いている。

第2章 各調査の結果

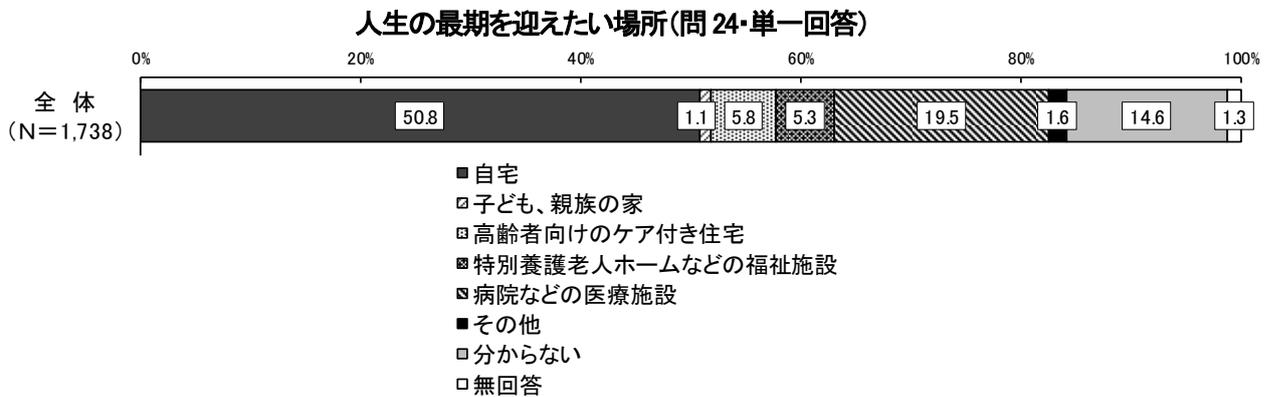
1 高齢者一般調査

在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由(問 23 付問2・複数回答(3つまで))



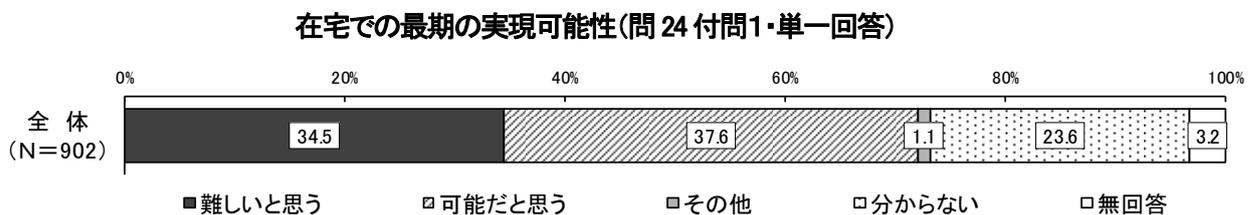
④人生の最期を迎えたい場所 (問 24・単一回答)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」(50.8%)が最も多く、「病院などの医療施設」(19.5%)、「分からない」(14.6%)、「高齢者向けのケア付き住宅」(5.8%)と続いている。



⑤在宅での最期の実現可能性 (問 24 付問 1・単一回答)

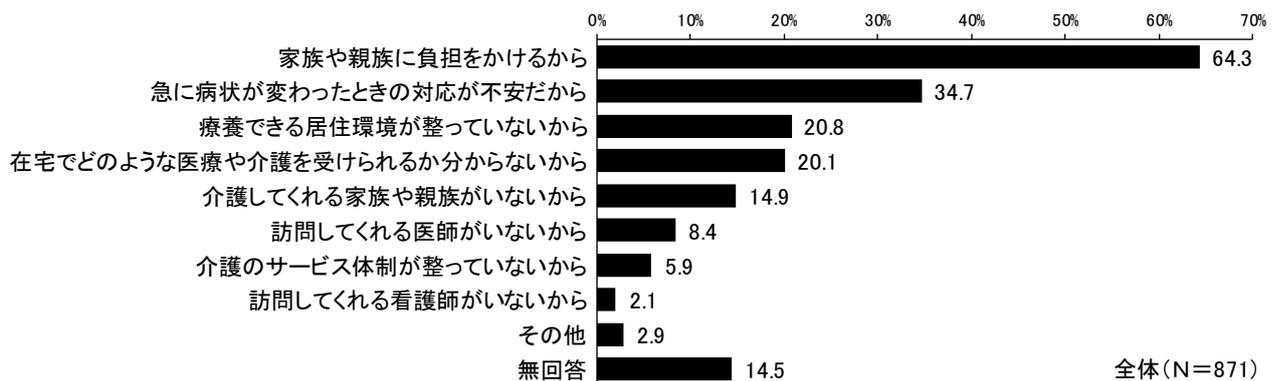
在宅での最期を希望する人(問 24 で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人)の実現可能性は、「可能だと思う」が37.6%、「難しいと思う」が34.5%、「分からない」が23.6%となっている。



⑥在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問24付問2・複数回答（3つまで））

在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う人（問24で「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」と回答した人及び問24付問1で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（64.3%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（34.7%）、「療養できる居住環境が整っていないから」（20.8%）、「在宅でどのような医療や介護を受けられるか分からないから」（20.1%）と続いている。

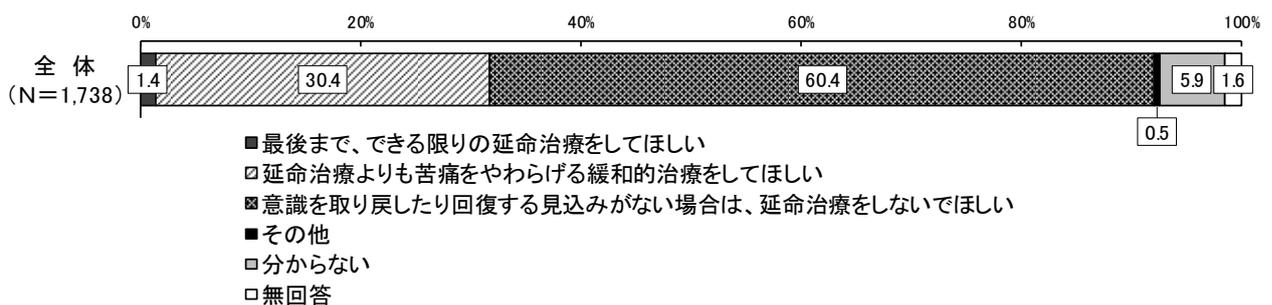
在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由(問24付問2・複数回答(3つまで))



⑦延命治療についての希望（問25・単一回答）

延命治療についての希望は、「意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療をしないでほしい」（60.4%）が最も多く、「延命治療よりも苦痛をやわらげる緩和的治療をしてほしい」（30.4%）、「分からない」（5.9%）、「最後まで、できる限りの延命治療をしてほしい」（1.4%）と続いている。

延命治療についての希望(問25・単一回答)

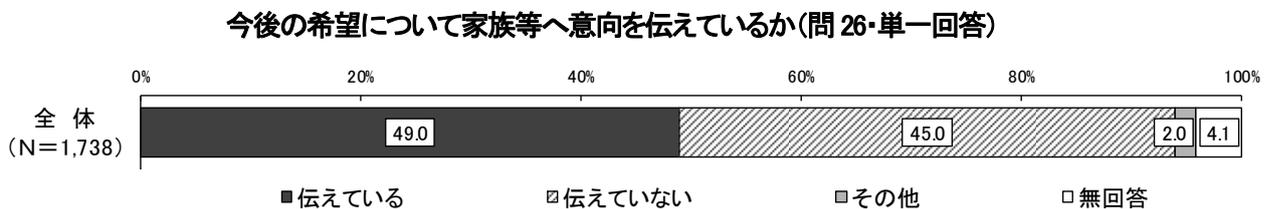


第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

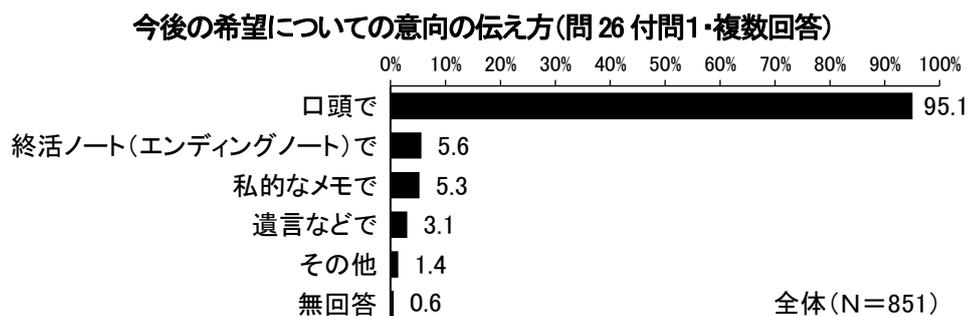
⑧今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか（問26・単一回答）

今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているかについては、「伝えている」が49.0%、「伝えていない」が45.0%となっている。



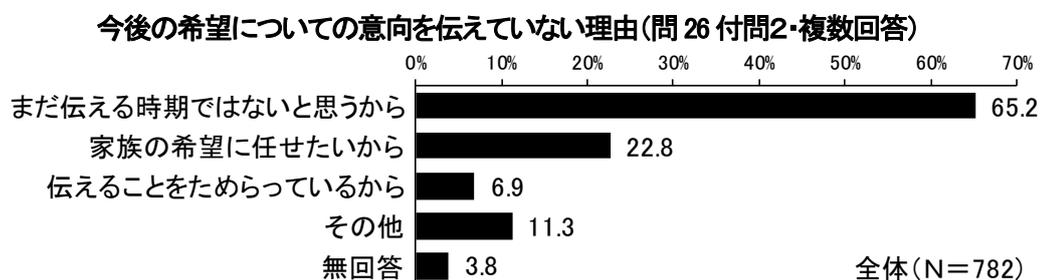
⑨今後の希望についての意向の伝え方（問26付問1・複数回答）

今後の希望についての意向を伝えている人（問26で「伝えている」と回答した人）の伝え方は、「口頭で」（95.1%）が最も多く、「終活ノート（エンディングノート）で」（5.6%）、「私的なメモで」（5.3%）、「遺言などで」（3.1%）と続いている。



⑩今後の希望についての意向を伝えていない理由（問26付問2・複数回答）

今後の希望についての意向を伝えていない人（問26で「伝えていない」と回答した人）の理由は、「まだ伝える時期ではないと思うから」（65.2%）が最も多く、「家族の希望に任せたいから」（22.8%）、「伝えることをためらっているから」（6.9%）と続いている。

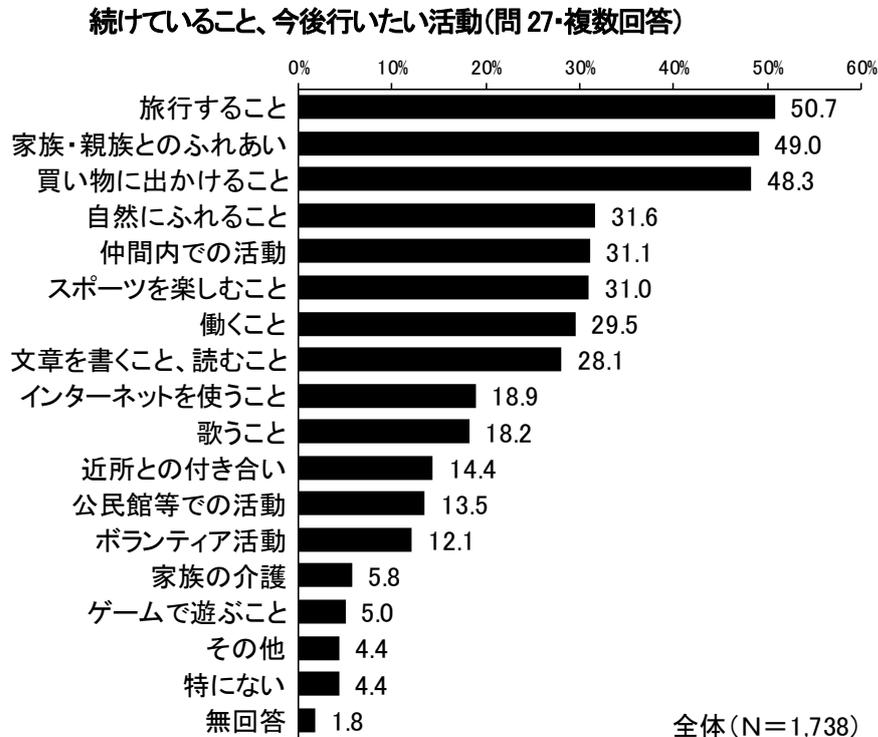


[その他の記述] まだ考えていない、伝える機会がない、伝える人がいない、など

(6) 生きがい

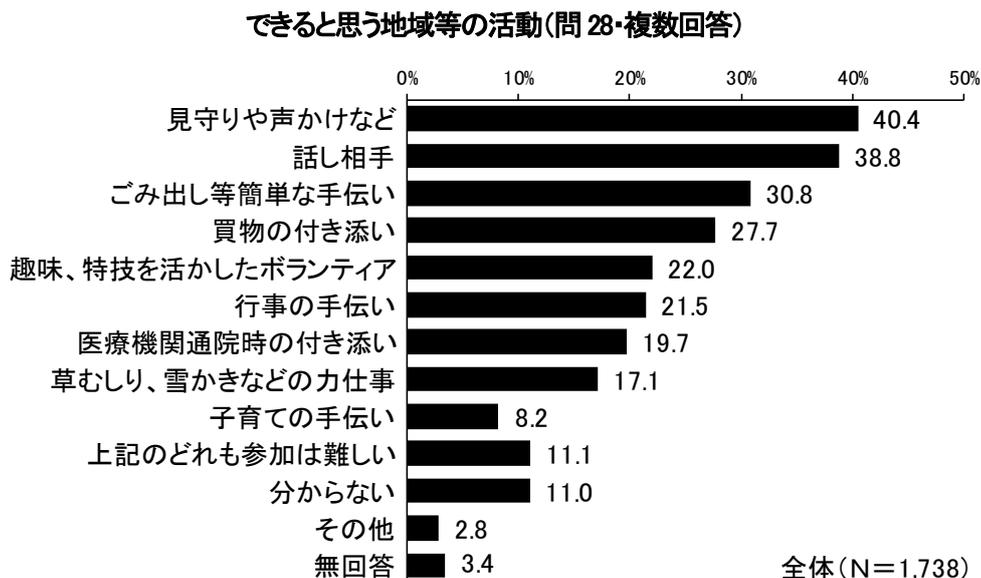
① 続けていること、今後行いたい活動 (問 27・複数回答)

続けていること、今後行いたい活動は、「旅行すること」(50.7%)が最も多く、「家族・親族とのふれあい」(49.0%)、「買い物に出かけること」(48.3%)と続いている。



② できると思う地域等の活動 (問 28・複数回答)

できると思う地域等の活動は、「見守りや声かけなど」(40.4%)が最も多く、「話し相手」(38.8%)、「ごみ出し等簡単な手伝い」(30.8%)と続いている。



第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

性・年齢別にみると、男性はいずれの年代も「ごみ出し等簡単な手伝い」が最も多く、女性の65～69歳や70～74歳では「見守りや声かけなど」、女性の75～79歳と80歳代では「話し相手」が最も多くなっている。

【性・年齢別】できると思う地域等の活動(問28・複数回答)

		ど声見 か守 けり なや	話 し 相 手	手等ご 伝簡み い単出 なし	力きり草 仕な、む 事ど雪し のか	き買 添物 いの 付	付通医 き院療 添時機 いの関	伝行 い事 の手
全体 (N=1,738)		40.4	38.8	30.8	17.1	27.7	19.7	21.5
男性	65～69歳 (N=207)	36.2	27.5	46.9	30.9	30.0	23.7	29.5
	70～74歳 (N=203)	40.9	28.1	50.7	29.1	30.5	19.2	32.0
	75～79歳 (N=162)	40.7	33.3	49.4	30.2	27.2	22.8	25.9
	80～84歳 (N=109)	27.5	26.6	40.4	18.3	23.9	16.5	14.7
	85～89歳 (N=51)	19.6	21.6	47.1	23.5	25.5	27.5	13.7
	90～94歳 (N=14)	42.9	21.4	50.0	21.4	14.3	14.3	7.1
女性	65～69歳 (N=257)	54.5	53.3	26.5	10.9	35.0	28.0	23.3
	70～74歳 (N=270)	51.5	48.5	17.4	9.3	30.0	18.5	23.0
	75～79歳 (N=212)	36.3	48.6	15.1	8.0	23.6	16.0	15.6
	80～84歳 (N=141)	34.0	43.3	14.2	9.9	23.4	10.6	10.6
	85～89歳 (N=57)	22.8	35.1	10.5	8.8	17.5	12.3	8.8
	90～94歳 (N=16)	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (N=38)	39.5	23.7	21.1	5.3	23.7	15.8	15.8	

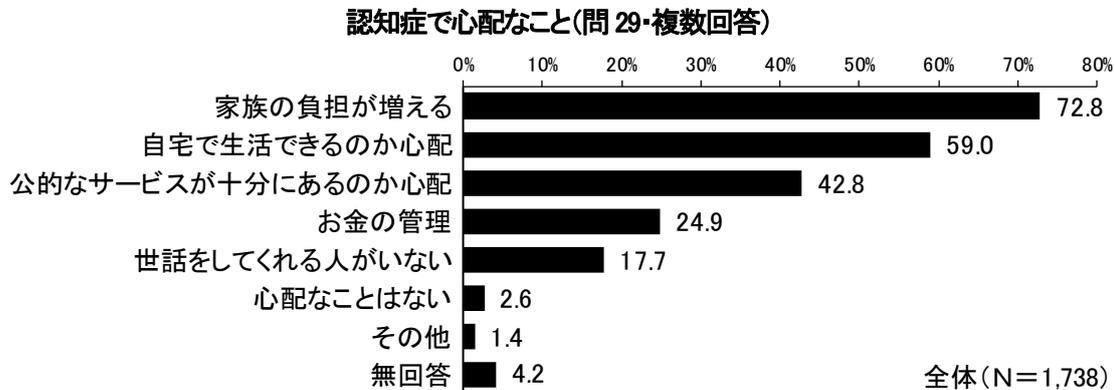
(%)

		手子 伝育 いて の	ンし技趣 テたを味 イボ活、 アラか特	はれ上 難も記 し参の い加ど	い分 から な	そ の 他	無 回 答
全体 (N=1,738)		8.2	22.0	11.1	11.0	2.8	3.4
男性	65～69歳 (N=207)	9.7	23.2	9.7	15.0	1.9	0.5
	70～74歳 (N=203)	6.9	28.1	4.9	13.8	3.0	1.0
	75～79歳 (N=162)	2.5	21.0	6.8	9.9	2.5	2.5
	80～84歳 (N=109)	1.8	18.3	19.3	7.3	4.6	8.3
	85～89歳 (N=51)	3.9	23.5	25.5	3.9	3.9	3.9
	90～94歳 (N=14)	0.0	7.1	21.4	7.1	7.1	0.0
女性	65～69歳 (N=257)	14.8	27.6	8.6	11.7	1.2	0.8
	70～74歳 (N=270)	12.2	23.3	8.1	9.3	4.8	1.5
	75～79歳 (N=212)	9.0	20.8	14.2	12.3	1.4	4.7
	80～84歳 (N=141)	5.7	14.2	11.3	11.3	3.5	5.0
	85～89歳 (N=57)	1.8	8.8	21.1	3.5	3.5	19.3
	90～94歳 (N=16)	0.0	0.0	50.0	12.5	0.0	18.8
	95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
80～84歳 (N=38)	5.3	21.1	10.5	13.2	2.6	10.5	

(7) 認知症

①認知症で心配なこと（問29・複数回答）

認知症で心配なことは、「家族の負担が増える」（72.8%）が最も多く、「自宅で生活できるのか心配」（59.0%）、「公的なサービスが十分にあるのか心配」（42.8%）と続いている。



圏域別では、全体的な傾向と大きく変わりはないものの、北東部圏域では他圏域に比べ「自宅で生活できるのか心配」（56.4%）がやや少なく、「公的なサービスが十分にあるのか心配」（45.8%）や「お金の管理」（27.9%）がやや多くなっている。

【圏域別】認知症で心配なこと(問29・複数回答)

(%)

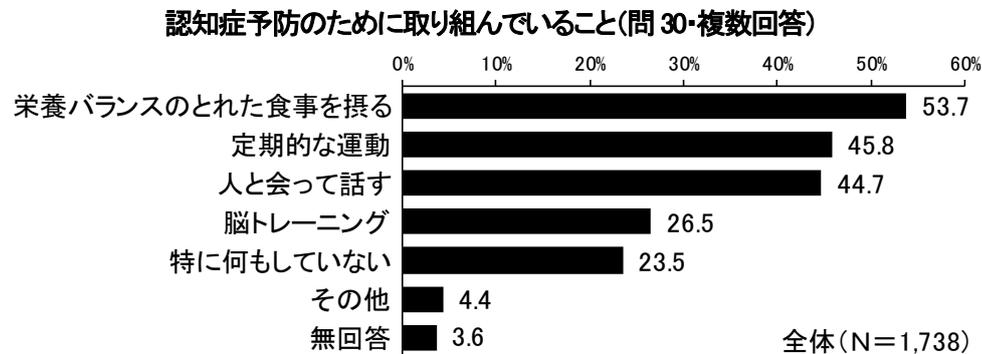
	家族の負担が増える	世話をしてくれる人がいない	公的なサービスが十分にあるのか心配	自宅で生活できるのか心配	お金の管理	心配なことはない	その他	無回答
全体 (N=1,738)	72.8	17.7	42.8	59.0	24.9	2.6	1.4	4.2
中部圏域 (N=428)	76.6	16.4	40.7	61.0	24.3	2.1	1.6	4.2
南部圏域 (N=457)	71.8	17.5	42.0	58.4	25.2	4.2	2.4	3.1
西部圏域 (N=479)	70.8	20.0	43.0	59.9	22.8	2.3	1.5	4.4
北東部圏域 (N=369)	72.1	16.5	45.8	56.4	27.9	1.9	0.0	5.4
無回答 (N=5)	100.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0

第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

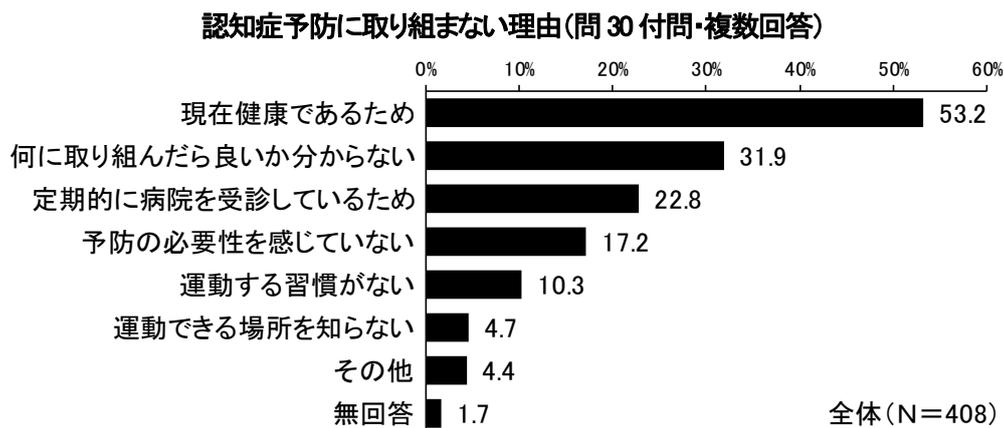
②認知症予防のために取り組んでいること（問30・複数回答）

認知症予防のために取り組んでいることは、「栄養バランスのとれた食事を摂る」（53.7%）が最も多く、「定期的な運動」（45.8%）、「人と会って話す」（44.7%）と続いている。



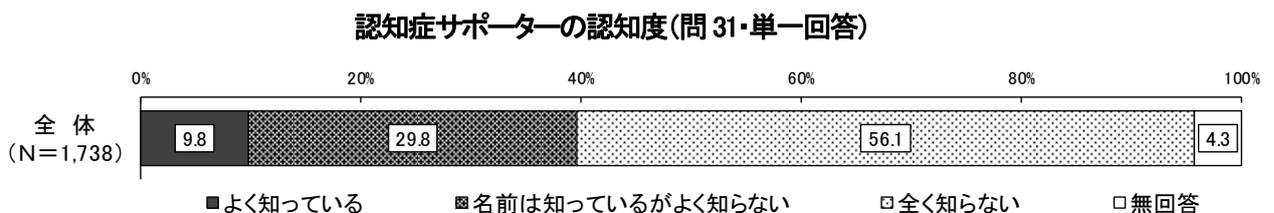
③認知症予防に取り組まない理由（問30付問・複数回答）

認知症予防に取り組んでいない人（問30で「特に何もしていない」と回答した人）の理由は、「現在健康であるため」（53.2%）が最も多く、「何に取り組んだら良いかわからない」（31.9%）、「定期的に病院を受診しているため」（22.8%）と続いている。



④認知症サポーターの認知度（問31・単一回答）

認知症サポーターの認知度は、「よく知っている」が9.8%、「名前は知っているがよく知らない」が29.8%、「全く知らない」が56.1%となっている。



性・年齢別では、男性の65～69歳（78.3%）や70～74歳（71.4%）で「全く知らない」が7割を超えている。

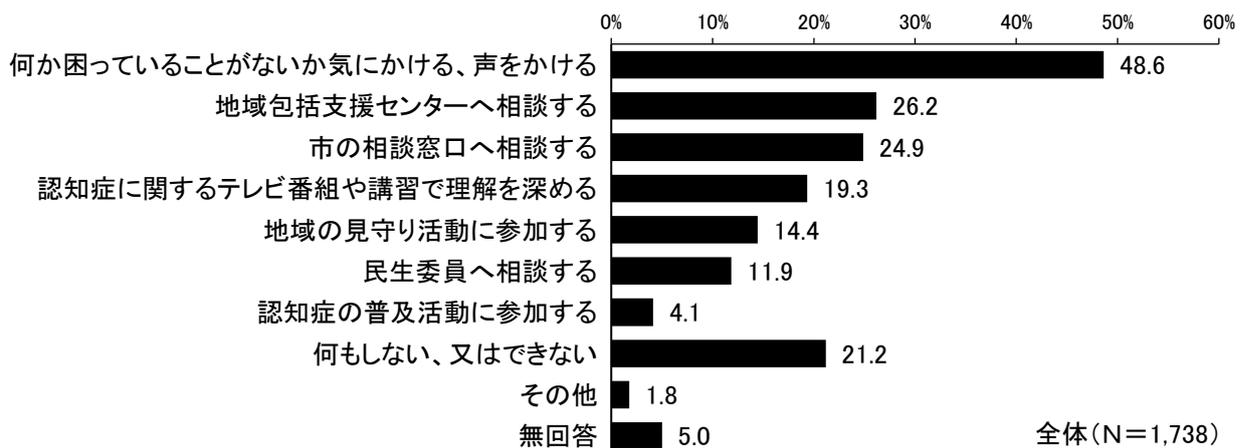
【性・年齢別】認知症サポーターの認知度(問31・単一回答) (%)

		てよ いく る知 つ	知る知名 らがつ前 なよては いくい	な全 いく 知 ら	無 回 答
全体 (N=1,738)		9.8	29.8	56.1	4.3
男性	65～69歳 (N=207)	5.8	13.5	78.3	2.4
	70～74歳 (N=203)	7.9	18.2	71.4	2.5
	75～79歳 (N=162)	5.6	30.2	61.7	2.5
	80～84歳 (N=109)	5.5	24.8	65.1	4.6
	85～89歳 (N=51)	3.9	29.4	51.0	15.7
	90～94歳 (N=14)	14.3	28.6	50.0	7.1
女性	65～69歳 (N=257)	14.4	35.0	47.9	2.7
	70～74歳 (N=270)	14.8	40.0	42.2	3.0
	75～79歳 (N=212)	11.3	32.1	49.5	7.1
	80～84歳 (N=141)	9.2	41.8	44.0	5.0
	85～89歳 (N=57)	8.8	38.6	42.1	10.5
	90～94歳 (N=16)	0.0	31.3	62.5	6.3
95歳以上 (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	
無回答 (N=38)		13.2	15.8	65.8	5.3

⑤認知症の人へ地域でできること (問32・複数回答)

認知症の人へ地域でできることは、「何か困っていることがないか気にかける、声をかける」(48.6%)が最も多く、「地域包括支援センターへ相談する」(26.2%)、「市の相談窓口へ相談する」(24.9%)と続いている。

認知症の人へ地域でできること(問32・複数回答)



第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

認知症サポーターの認知度別では、「よく知っている」人は「何か困っていることがないか気にかける、声をかける」(71.9%)、「地域包括支援センターへ相談する」(56.1%)が特に多く、「全く知らない」人は「何か困っていることがないか気にかける、声をかける」(40.7%)に次いで「何もしない、又はできない」(29.8%)が多くなっている。

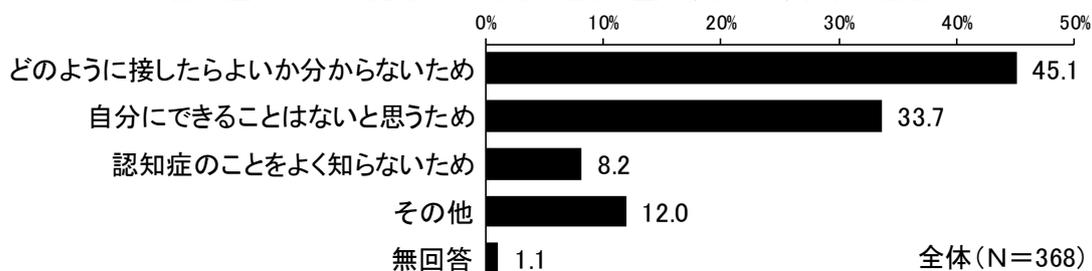
【認知症サポーターの認知度別】認知症の人へ地域でできること(問32・複数回答) (%)

	けと何 るが か困 、な 声い つ を か か 気 い け に る か こ	に地 参 域 加 の 見 守 り 活 動	タ地 一 域 へ 包 括 支 援 セ ン	談市 すの 相 談 窓 口 へ 相	る民 生 委 員 へ 相 談 す	理レ 解 を 番 組 に 関 する 講 習 で テ	に認 知 症 の 普 及 活 動	で何 も し な い 、 又 は	そ の 他	無 回 答
全体 (N=1,738)	48.6	14.4	26.2	24.9	11.9	19.3	4.1	21.2	1.8	5.0
よく知っている (N=171)	71.9	34.5	56.1	30.4	21.6	28.1	9.4	4.1	1.2	1.2
名前は知っているがよく知らない (N=518)	60.8	14.1	35.5	27.6	16.8	25.3	4.1	12.9	1.0	1.9
全く知らない (N=975)	40.7	11.7	17.3	23.5	8.3	15.7	3.6	29.8	2.4	2.2
無回答 (N=74)	13.5	6.8	8.1	10.8	1.4	5.4	0.0	4.1	1.4	73.0

⑥認知症の人へ何もしない、できないと思う理由(問32付問・単一回答)

認知症の人へ何もしない、できないと思う人(問32で「何もしない、又はできない」と回答した人)の理由は、「どのように接したらよいか分からないため」(45.1%)が最も多く、「自分にできることはないと思うため」(33.7%)、「認知症のことをよく知らないため」(8.2%)と続いている。

認知症の人へ何もしない、できないと思う理由(問32付問・単一回答)



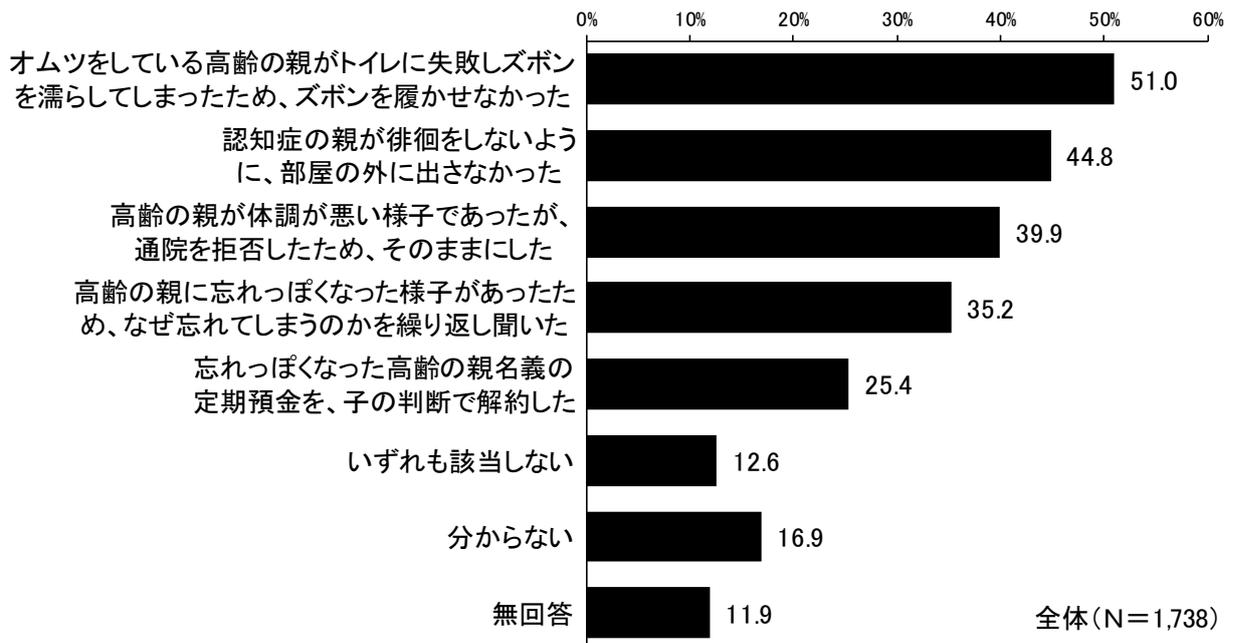
[その他の記述] 認知症のことは家族にしか分からない、など

(8) 高齢者虐待

① 高齢者虐待へつながる可能性があると思うもの (問33・複数回答)

高齢者虐待へつながる可能性があると思うものは、「オムツをしている高齢の親がトイレに失敗しズボンを濡らしてしまったため、ズボンを履かせなかった」(51.0%)が最も多く、「認知症の親が徘徊をしないように、部屋の外に出さなかった」(44.8%)、「高齢の親が体調が悪い様子であったが、通院を拒否したため、そのままにした」(39.9%)と続いている。

高齢者虐待へつながる可能性があると思うもの(問33・複数回答)



第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

認知症サポーターの認知度別では、「よく知っている」人は5つの具体例いずれも高齢者虐待につながる可能性があると感じた人が多く、「いずれも該当しない」(8.2%)、「分からない」(7.0%)は少なくなっている。

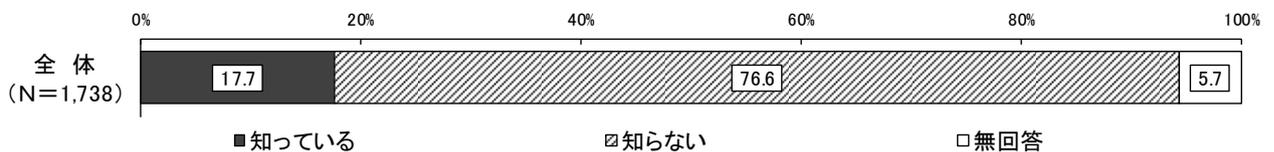
【認知症サポーターの認知度別】高齢者虐待へつながる可能性があると思うもの(問33・複数回答) (%)

	かよ認 う知 たに症 、の 部親 屋が の排 外廻 にを 出し さな ない	し忘た高 聞れ様 いて子 たしが親 まあに うっ忘 のたれ かたっ をめぼ 繰、く りなな 返ぜっ	たで高 たあ めっの 、た親 そがが の、体 ま通調 ま院が にを悪 し拒い た否様 し子	ボ濡がオ ンらトム をしイツ 履てレを かしにし せま失て なっ敗い かたしる ったズ高 ためボ ン、の ズを親	断名忘 で義れ 解のっ 約定ぼ し期く た預な 金った をた 、高 子 の 判親	い ず れ も 該 当 し な い	分 か ら な い	無 回 答
全体 (N=1,738)	44.8	35.2	39.9	51.0	25.4	12.6	16.9	11.9
よく知っている (N=171)	67.3	59.1	63.7	70.2	48.0	8.2	7.0	5.8
名前は知っている がよく知らない (N=518)	50.2	36.7	43.4	54.8	24.9	10.8	15.4	10.2
全く知らない (N=975)	40.7	32.2	36.3	48.7	23.0	15.0	20.4	8.6
無回答 (N=74)	9.5	9.5	8.1	9.5	8.1	4.1	2.7	81.1

②高齢者虐待の通報先の認知(問34・単一回答)

高齢者虐待の通報先の認知は、「知っている」が17.7%、「知らない」が76.6%となっている。

高齢者虐待の通報先の認知(問34・単一回答)

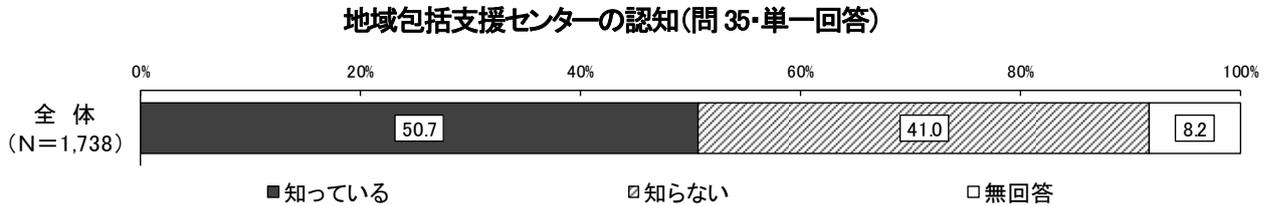


なお、「知っている」と回答した人が挙げた具体的な相談先は、「地域包括支援センター」「警察」「市役所」などとなっている。

(9) 高齢者を支える仕組み

①地域包括支援センターの認知 (問 35・単一回答)

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が50.7%、「知らない」が41.0%となっている。



②自分の担当センターの認知 (問 35 付問・単一回答)

問 35 で地域包括支援センターを「知っている」と回答した人に自分の担当センターを伺ったところ、正しく自分の住む地区の地域包括支援センターを答えた人は、「泉町地域包括支援センター」(86.3%)が最も多く、「栄町地域包括支援センター」(85.6%)、「向台町地域包括支援センター」(82.3%)と続いている。

【地域包括支援センター地区別】自分の担当センターの認知(問 35 付問・単一回答)

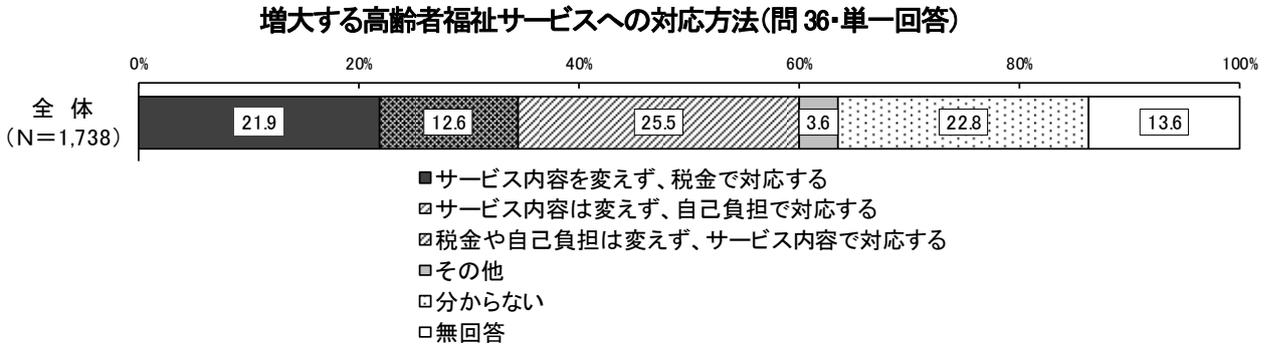
回答者の居住地区	自分の担当センター	認知状況 (%)									
		田無町地域包括支援センター	泉町地域包括支援センター	新町地域包括支援センター	向台町地域包括支援センター	西原町地域包括支援センター	緑町地域包括支援センター	富士町地域包括支援センター	栄町地域包括支援センター	知らない	無回答
全体 (N=882)		11.3	13.2	8.4	12.5	11.6	10.1	9.8	9.8	12.2	1.2
田無町地域包括支援センター地区 (N=98)		64.3	7.1	0.0	2.0	0.0	0.0	9.2	0.0	17.3	0.0
泉町地域包括支援センター地区 (N=117)		2.6	86.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	8.5	1.7
新町地域包括支援センター地区 (N=108)		1.9	1.9	66.7	1.9	0.0	0.0	8.3	0.0	17.6	1.9
向台町地域包括支援センター地区 (N=124)		4.8	0.0	0.8	82.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3	0.8
西原町地域包括支援センター地区 (N=127)		7.9	0.0	0.0	2.4	80.3	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0
緑町地域包括支援センター地区 (N=122)		9.8	0.8	0.0	0.8	0.0	72.1	0.0	0.8	13.1	2.5
富士町地域包括支援センター地区 (N=85)		0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	1.2	11.8	2.4
栄町地域包括支援センター地区 (N=97)		2.1	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	85.6	9.3	1.0
無回答 (N=4)		50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

第2章 各調査の結果

1 高齢者一般調査

③増大する高齢者福祉サービスへの対応方法（問36・単一回答）

増大する高齢者福祉サービスへの対応方法は、「税金や自己負担は変えず、サービス内容で対応する」（25.5%）が最も多く、「サービス内容を変えず、税金で対応する」（21.9%）、「サービス内容は変えず、自己負担で対応する」（12.6%）と続いている。



④今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと（問37・複数回答（3つまで））

今後地域で暮らしていくために必要だと思うことは、「家族、親族とのつながり」（46.1%）が最も多く、「近所とのつながり」（40.7%）、「暮らしに関する困りごとの相談ができる場」（25.8%）と続いている。

